



## ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸

2025年9月25日(木)~28日(日) Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)



[出展者数] 世界 82 地域

1,350 企業・団体

[来場者数] 合計 127,677 人

9月25日(木)／業界・プレス日

9月26日(金)／業界・プレス日

20,316 人

18,144 人

9月27日(土)／一般日

41,799 人

47,418 人



# ツーリズムEXPOジャパン、初の愛知開催 日本の“ど真ん中”から世界へ発信 テーマは「旅は“知”の再発見」、127,677人が来場

公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）、日本政府観光局（JNTO）は「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸（TEJ2025）」を2025年9月25日（木）から28日（日）にAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で開催。「旅は“知”的再発見」をメインテーマに、海外82カ国・地域、日本全国から当初目標を大きく上回る1,350の企業・団体が参加し、初の愛知開催への高い注目から会期中の来場者は127,677人を記録した。石破茂首相（当時）からは「観光は地方創生2.0の観点からも地域の根幹的な産業。地域間の連携が重要だ」とビデオメッセージが寄せられた。

9月25日（木）、26日（金）の業界日に行われたTEJカンファレンスでは、観光産業の未来を模索するプログラムが出そろった。基調講演には株式会社スタジオジブリ代表取締役副社長の中島清文氏が登壇し、ジブリ流テーマパークのつくり方を通じて資源再生や様々な文化との複合によって地域が輝くヒントをもたらした。

観光産業が世界的に地域格差、人材不足といった課題を抱える中、世界7カ国の観光行政トップと6つの国際機関代表が参加した第8回TEJ観光大臣会合では、地域の変革には人材やDX、インフラなどへの投資が不可欠との総意が提言された。



左から：日本政府観光局（JNTO）理事長 蒲生篤実、一般社団法人日本旅行業協会（JATA）会長 高橋広行、ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸スペシャル・サポーター 濑戸朝香さん、公益社団法人日本観光振興協会 理事長 最明仁、一般社団法人中部経済連合会 会長 勝野哲氏

テーマ別シンポジウムでは、開催地である愛知県が率先して推進している休み方改革、フェーズフリーなど新たな視点から議論が行われた。中部圏は中部国際空港（セントレア）を擁する一方、他の主要空港に比べて国際線の便復・就航の遅れが懸念されており、海外旅行シンポジウムでは、路線ネットワーク拡大のために空港、航空会社、旅行会社が連携を強化して取り組む必要性をあらためて確認した。

アポイント商談においては703人のバイヤーと826人のセラーが参加し、事前アポイントメント制による6,071件の商談が行われた。展示会では出展小間数が1,474小間となり、海外442小間、国内640小間の出展があった。中部圏9県による大型の共同ブースも注目を集めた。

次回は2026年9月24日（木）から27日（日）まで、2年ぶりに東京ビッグサイトで開催。愛知で示された広域観光の動きや世界的な観光多様化、テーマツーリズムのさらなる発展などが期待される。

## ■ツーリズムEXPOジャパン 実績

2024年	
出展者数	世界80カ国・地域／国内47都道府県 1,384企業・団体
来場者数	9/26(木)：業界・プレス日 36,459人 9/27(金)：業界・プレス日 35,359人 9/28(土)：一般日 54,869人 9/29(日)：一般日 56,247人 合計 182,934人
2023年（大阪・関西）	
出展者数	世界70カ国・地域／国内46都道府県 1,275企業・団体
来場者数	10/26(木)：業界・プレス日 23,071人 10/27(金)：業界・プレス日 26,089人 10/28(土)：一般日 48,305人 10/29(日)：一般日 50,597人 合計 148,062人
2022年	
出展者数	世界78カ国・地域／国内47都道府県 1,018企業・団体
来場者数	9/22(木)：業界・プレス日 24,794人 9/23(金)：業界・プレス日 18,811人 9/24(土)：一般日 40,483人 9/25(日)：一般日 39,986人 合計 124,074人
2020年（沖縄）10/29(木)～11/1(日)	
出展者数	世界30カ国・地域／国内28都道府県 285企業・団体
来場者数	合計 24,174人
2019年（大阪）10/24(木)～10/27(日)	
出展者数	世界100カ国・地域／国内47都道府県 1,475企業・団体
来場者数	合計 151,099人
2018年 9/20(木)～9/23(日)	
出展者数	世界136カ国・地域／国内47都道府県 1,441企業・団体
来場者数	合計 207,352人
2017年 9/21(木)～9/24(日)	
出展者数	世界130カ国・地域／国内47都道府県 1,310企業・団体
来場者数	合計 191,577人
2016年 9/22(木)～9/25(日)	
出展者数	世界140カ国・地域／国内47都道府県 1,181企業・団体
来場者数	合計 185,844人
2015年 9/24(木)～9/27(日)	
出展者数	世界141カ国・地域／国内47都道府県 1,161企業・団体
来場者数	合計 173,602人
2014年 9/26(木)～9/28(日)	
出展者数	世界151カ国・地域／国内47都道府県 1,129企業・団体
来場者数	合計 157,589人

## ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸

# 4つの事業

### ①展示商談会

展示出展数：1,474小間、1,350企業・団体（トラベルソリューション展2025を含む）

「旅は“知”的再発見」をテーマに、「クルーズ」「ドライブツーリズム」をはじめ、「コンテンツツーリズム」などの新しい特集企画展を拡大、強化！

アポイント商談登録者数：セラー826名、バイヤー703名 商談セッション数：6,071件

出展者のビジネス効果と事前アポイントメント制で効率化を追求した展示商談会を2日間開催

### ②TEJカンファレンス

“激変する地域観光～地域連携戦略と人材育成”をテーマに世界の観光分野のトップリーダーが集結！

世界観光機関（UN Tourism）と連携した第8回TEJ観光大臣会合、基調講演、テーマ別シンポジウム、ツーリズム・プロフェッショナル・セミナーを開催

### ③交流事業

開催初日の「WELCOME RECEPTION」では、ビジネスネットワーキングの創出はもちろん、名古屋を舞台とする日本最大級の踊りの祭典「にっぽんじん中祭り」などのパフォーマンスが会場を魅了

### ④顕彰事業

ツーリズムの発展・拡大に貢献する、国内・海外の団体・組織・企業・個人の持続可能で優れた取組を表彰する第9回「ジャパン・ツーリズム・アワード」表彰式を開催

## 相乗効果を生み出す連携イベント

### 同時開催：トラベルソリューション展2025

新時代の観光ビジネスを支えるDX関連サービスを提供する企業・団体が集結！（9月25日・26日／37企業・団体）

### 合同開催：VISIT JAPAN トラベル&MICEマート2025（VJTM & VJMM 2025）

主催：日本政府観光局（JNTO）

海外の訪日取扱旅行会社（33カ国・地域、約270社）と日本各地の観光関連事業者（約330社・団体）が一堂に会し、商談会（9月25日～27日）を実施

## ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸

### スペシャル・サポーター

#### 地元出身の俳優・瀬戸朝香さん

「旅を通じて得られるものを大切にしていきたい」

ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸では、地元である愛知県瀬戸市出身の瀬戸朝香さんがスペシャル・サポーターに就任。瀬戸さんは「私にとっての“旅”は思い出づくり、新たな発見、出会いなど様々な意味があります。このイベントが行ったことのない場所へ行くきっかけになれば」と、自身の家族旅行や海外留学する子どもたちを訪ねる一人旅の経験を交えながら語った。実際に各ブースも訪れ、SNSで「これからも“旅”を通じて得られるものを大切にしていきたい」と発信した。

会期中はWELCOME RECEPTIONに登壇。一般日のトークショーも行った。



主催団体記者会見で意気込みを語る瀬戸朝香さん

## オープニングセレモニー

公益社団法人日本観光振興協会  
会長 茅田正信国土交通大臣政務官  
吉井章氏世界観光機関(UN Tourism)  
エグゼクティブ・ディレクター  
ゾリツア・ウロセヴィック氏世界最大級の観光イベントが愛知に初上陸  
セントレア起点の観光振興、北陸復興支援の発信の場に

オープニングセレモニーでは、主催団体を代表して日本観光振興協会の茅田正信会長が、開催目的の「愛知・中部北陸の魅力発見」「中部国際空港(セントレア)のさらなる国際化」「北陸地域の復興支援」「BtoB強化による業界の活性化」に触れつつ、「観光を通じて地域全体の活性化を図るとともに、旅の新たな形を世界に発信する絶好の機会にしたい」と力強く宣言。来賓では吉井章国土交通大臣政務官(当時)が「自然文化の保全と観光との両立が図られるよう、地方誘客とオーバーツーリズム対策に取り組む」との政府の方針を強調したのに続き、来日した世界観光機関(UN Tourism)のゾリツア・ウロセヴィックエグゼクティブ・ディレクターは「世界の観光産業は回復し、新たな変革期に入っている。デスティネーションの多様化やDXを進めていこう」と呼びかけた。また、石破茂首相(当時)

は「観光は地方創生2.0の観点からも地域の根幹的な産業。地域間の連携も重要だ」とビデオメッセージを寄せた。

## 登壇者

ご来賓：国土交通大臣政務官 吉井章氏／世界観光機関(UN Tourism) エグゼクティブ・ディレクター ゾリツア・ウロセヴィック氏／国土交通省 観光庁長官 村田茂樹氏／世界旅行ツーリズム協議会(WTTC) アジア地域部長 サラ・ワン氏／一般社団法人中部経済連合会 会長 勝野哲氏／北陸経済連合会 会長 金井豊氏／一般社団法人愛知県観光協会 会長 安藤隆司氏／国土交通省 中部運輸局長 中村広樹氏／中部国際空港株式会社 代表取締役社長 籠橋寛典氏／インド・ラジャスタン州観光省 長官 ルクマニ・アーラル氏／東海旅客鉄道株式会社 営業本部 販売戦略部門 担当部長 渡邊典典氏／名古屋鉄道株式会社 代表取締役 副社長 執行役員 鈴木清美氏／マカオ政府観光局 マーケティング部・日本市場担当 陳志豪氏／日本航空株式会社 取締役会長 赤坂 祐二氏／ANAホールディングス株式会社 取締役会長 片野坂真哉氏／スターラックス航空 西日本支店長 小宮ジョセフ氏／日本空港ビルディング株式会社 取締役 専務執行役員 藤野威氏／東京国際空港ターミナル株式会社 常務取締役 德武大介氏

主催者：公益社団法人日本観光振興協会 会長 茅田正信／一般社団法人日本旅行業協会(JATA) 会長 高橋広行／日本政府観光局(JNTO) 理事長 蒲生篤実

## 基調講演

## テーマ ➔ 迷子になろうよ、いっしょに。

## 常識の真逆目指した美術館と子どもたちの思い出づくりパーク

基調講演では、スタジオジブリがなぜ美術館やテーマパークを手掛け、どう運営しているのか、中島氏が具体的なエピソードを交えて説明した。2001年開館の三鷹の森ジブリ美術館は、アニメーターの高齢化対策としての物販事業強化がきっかけと意外な内情が明かされた。コンセプトは既存美術館の常識を否定する発想。つまり、コンクリートの現代建築、冷たい空気感、順路に従い進む鑑賞方式の真逆を追求。「木材多用の丸みあるフォルムで光と風に満ちた建築、順路がない迷路な構造。運営は『子どものため』『モノづくりを体感』『自然との共生』を基本に、1日2,400人の事前予約制で快適な空間の提供に務めた」(中島氏)。しかし、インバウンド急増もあり受け止めきれなくなった。

折しも2013年の宮崎駿監督の引退宣言で翌年制作部門を解散。ジブリが何をすべきか問われていた時期とも重なり、愛・地球博記念公園の再整備事業としてジブリパーク構想が具体

化した。万博開催前に、万博会場エリアにあった青少年公園のように、「子どもたちが野外体験学習等で一度は訪れ、成長しても皆で思い出を共有できる場所。そのような公園をジブリパーク設置で実現したいと考えた」(中島氏)。今後の課題は集客の維持。中島氏は「来園者は東海3割、全国各地から5割、訪日2割。地元・近隣以外が7割だ。来場者は美術館60万人に対しパークはその3倍。近隣人口に限りがあり、海外を含む観光客の継続的な獲得が欠かせない」という。



## 基調講演者

中島清文氏

(株式会社スタジオジブリ 代表取締役副社長)

9月25日(木) 13:30~14:30  
L3~L5会議室

9月25日(木) 9:30~10:00  
L3~L5会議室



## 第8回TEJ観光大臣会合

9月25日(木) 14:45~16:45  
L3~L5会議室

## テーマ ➔ 激変する地域観光～地域連携戦略と人材育成

共催：  
UN Tourism  
SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界の観光トップが愛知に集結！  
持続可能な未来に向けた「地域の変革」を議論

国連が「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択してから10年目を迎えた今年、第8回TEJ観光大臣会合には、世界7カ国の観光行政トップと6つの国際機関代表が参加し、持続可能な未来へつながる「地域の変革」をテーマに取り上げた。前半では「デスティネーションの多様化」、後半では「人材育成」と「DX」を中心に、世界各地の事例や方針について話し合った。

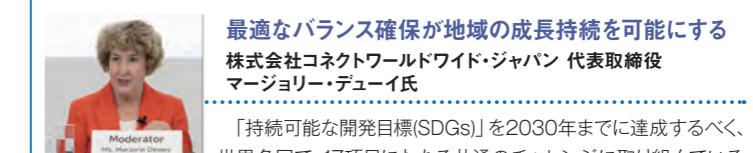
世界観光機関(UN Tourism)のエグゼクティブ・ディレクター ゾリツア・ウロセヴィック氏は「世界の海外旅行者数は2019年を超えて完全に回復し、今、新たな変革期が始まっている」と話し、変革を後押しする人材やインフラへの投資、持続可能でインクルーシブな発展に資するデスティネーションの多様化やDXを呼びかけた。

参加各氏は、官民および地域間や近隣諸国間の連携、人材育成とデジタル技術導入による観光の質向上、「意義ある観光」というコンセプトのもと、環境や経済への影響を正しく評価するKPIづくりなどの取り組みについて紹介。日本を代表して参加した国土交通大臣政務官(当時)の吉井章氏は、東京をはじめとする三大都市圏への旅行者の集中、一部地域・時間帯での過度な混雑やマナー違反等の問題を解消するため、地方への誘客、需要の分散・平準化等を進めていく方針を示した。



登壇者  
参加国：オーストラリア／カンボジア／日本／パナマ／スロベニア／ウルグアイ／ウズベキスタン  
国際団体：世界観光機関(UN Tourism)／世界旅行ツーリズム協議会(WTTC)／太平洋アジア観光協会(PATA)／ヨーロッパ観光委員会(ETC)／東アジア・アセアン経済研究センター(ERIA)／アドベンチャー・トラベル・トレード・ゾシエーション(ATTA)

## モレーテー



最適なバランス確保が地域の成長持続を可能にする  
株式会社ネクストワールドワイド・ジャパン 代表取締役  
マージョリー・デューアイ氏

「持続可能な開発目標(SDGs)」を2030年までに達成するべく、世界各国で、17項目にわたる共通のチャレンジに取り組んでいるが、持続可能な観光をマネジメントするカギが「地域の変革」にあることは、すでに認識されている通りだ。地域の環境、経済、投資、人材、デジタルイノベーション、地域ネットワーク、社会的・文化的要素など、多くの領域にわたる複雑な問題だ。最適なバランスを保つことが、安定した地域の成長継続に最も重要なことだ。

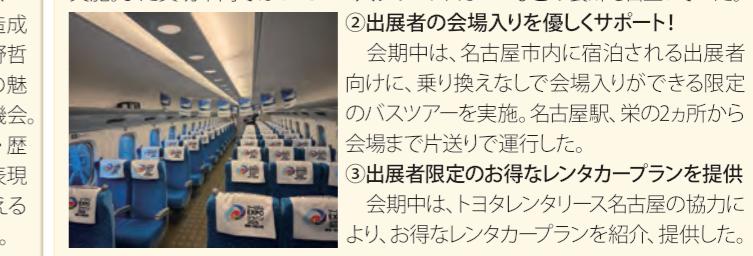
主催団体記者会見  
中部圏が海外旅行復活の起爆剤に

主催団体記者会見では、高橋広行実行委員長(JATA会長)が総合テーマ「旅は“知”的再発見」について、「アドベンチャーツーリズムをはじめ新たな需要創造につなげていく」と力を込め、セントレアを擁する中部圏が海外旅行復活の起爆剤になつてもらいたいとの期待感を示した。日本観光振興協会の最明仁理事長は各展示ブースが「テーマ性にあふれている」と紹介。日本政府観光局(UNTO)の蒲生篤実理事長は「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2025」の取り組みとともに、「実体験を通じて、多様な訪日旅行商品の造成につなげてほしい」と呼びかけた。地元を代表して中部経済連合会の勝野哲会長は、「中部北陸9県の魅力を知つてもらう絶好の機会。観光資源をものづくり・歴史・自然・食の4テーマで表現し、五感で楽しんでもらえるようにした」と意気込んだ。

初の愛知開催で、首都圏エアリアのバイヤー・  
出展者へのスペシャル企画を展開！

初の愛知開催となった今年は、首都圏エアリアからのバイヤーや出展者へのアクセスを考慮して、以下の新規事業が展開された。

①新幹線貸切車両と名鉄ミュースカイで全142名を会期初日にAichi Sky Expoへ！  
新幹線では15号車、16号車の2両を貸し切り、大阪府箕面市「勝運の寺」・「勝尾寺」、TEJ会場のお膝元「常滑市」・韓国観光公社の3団体による車内セミナーを実施。また貸切車両ではTEJロゴ入りのヘッドカバーなどの装飾も目立っていた。



## ②出展者の会場入りを優しくサポート！

会期中は、名古屋市内に宿泊される出展者向けに、乗り換えないで会場入りができる限定のバスツアーを実施。名古屋駅、栄の2ヵ所から会場まで片送りで運行した。

③出展者限定のお得なレンタカープランを提供  
会期中は、トヨタレンタリース名古屋の協力により、お得なレンタカープランを紹介、提供した。

## テーマ別シンポジウム

9月26日(金) 10:00~17:50 会議室L3~L5

## 国内観光シンポジウム

●主催:公益社団法人日本観光振興協会

## テーマ 「フェーズフリー」で進化する観光 一安心と豊かさが築く次世代デザイン

基調講演: フェーズフリー: 「日常」を超えた価値を創る

パネルディスカッション: フェーズフリーで「暮らしぶり旅をアップデート」の観光地域づくり

## 「フェーズフリー」の視点で、暮らしぶり災害対策もアップデートを

基調講演を行った佐藤氏は、「日常生活と万一事象の防災対策を、連続したものとして捉える」フェーズフリーの具体例として、衣料品や住宅の新商品や、石川県の復興プランなどを紹介。防災対策が限りある行政の予算やボランティア頼りであること、個人ベースでも、日常生活に役立たない防災対策は手つかずという現状を認識し、「備えられないことを前提に、日常的に使う商品やサービスを有事にも役立つものにするアプローチを」と訴えた。

続くパネルディスカッションでは、2つの自治体が取り組みを紹介した。北海道小清水町では、沿岸部に集中する人流を街中へ誘う効果と、市民の防災対策を担う「防災拠点型」複合庁舎「ワタシ」を2023年に開業。役場にランドリー施設、カフェ、スポーツジムを併設したほか、隣にドラッグストア

を誘致し、災害時の物資提供で連携協定を結んだ。今夏には同施設見学や各種体験の視察ツアーも実施し、「小清水町を気に入ってくれる効果も出ている」と石丸氏は話した。

一方、南海トラフ地震などへの危機感から、フェーズフリーを全国で最初にまちづくりに取り入れた徳島県鳴門市では、「非常時も非常時も拠点となりうること」(藤倉氏)を目指す。その成功事例の一つ、「道の駅『くるくるなると』」は、多くのメディアから取り上げられており、年間訪問者は130万人、売上20億円にのぼる。佐藤氏は「非常時対策に偏りがちだが、楽しくすることに軸足を置いて」とアドバイスした。

主催者挨拶 最明 仁 (公益社団法人日本観光振興協会 理事長)

基調講演 佐藤 唯行 氏 (一般社団法人フェーズフリー協会 代表理事)

パネルディスカッション ファシリテーター 近藤 千恵子 (公益社団法人日本観光振興協会 主査)

パネリスト 佐藤 唯行 氏 (一般社団法人フェーズフリー協会 代表理事)  
石丸 寛之 氏 (小清水町 産業課 課長) 藤倉 大樹 氏 (鳴門市 戰略企画課 副課長)

10:00~11:20



基調講演 / 佐藤 唯行 氏



パネルディスカッション



最明 仁 近藤 千恵子



石丸 寛之 氏 藤倉 大樹 氏

## 海外旅行シンポジウム

●主催:一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)

12:10~13:30

## テーマ セントレアからいかにして日本人海外渡航者を増やしていくのか

## 海旅促進のため双方需要獲得による国際線活性化を

パネリストらによれば、中部国際空港発の海旅需要はコロナ前に戻っていない。6月の出国日本人数は全国主要7空港全体では2019年比75%の回復なのに対し、中部発は54%。運航便数はコロナ前の週480便に対し340便。欧州線はAYのヘルシンキ線のみ。しかしJLホノルル線が今年7月から毎日運航に増便され、AYは夏期を週4便に倍増するなど座席供給増の動きもある。

こうした現状を踏まえ、中部発の海旅拡大のため何をするのか提案があった。JTB内海氏はパスポート取得促進等による底上げに加え、中部発に関しては「愛知県が2023年度から導入したラーニングの活用を積極的に図るべき」と呼びかけた。またJLの岩見氏はホノルル線の需要喚起のためスポーツの

活用を挙げ「ホノルルマラソンの冠スポンサーに復帰したほか、トライアスロン等を含めて年間を通じた集客向上を図る」とした。路線維持には訪日需要が重要と強調したのがAY北川氏。「日本支社は日本発の促進が本来業務だが、路線維持の重要性から中部が弱い訪日促進にも取り組む」と説明。中部国際空港の籠橋氏は路線強化に向け業務渡航や貨物需要獲得を図る考え方で「中部地域の輸出貨物19万トンのうちセントレア利用は4万トン。残りは成田・羽田へのトラック輸送だ。これを取り込む」と説明。

最後にファシリテーターのJATA星野中部事務局事務局長が「中部発の拡大に向け空港、キャリア、旅行会社が膝を交え一丸でやるのが重要」と述べ会議を締め括った。

## パネルディスカッション

ファシリテーター 星野 道佳 (一般社団法人日本旅行業協会中部事務局 事務局長)

パネリスト 籠橋 寛典 氏 (中部国際空港株式会社 代表取締役社長)

岩見 麻里 氏 (日本航空株式会社 中部支社長)

北川 昌彦 氏 (フィンエアー 西日本・中部地区支店長)

内海 勝仁 氏 (株式会社JTB 執行役員 中部エアリ亞代表/一般社団法人日本旅行業協会中部支部 支部長)



星野 道佳 籠橋 寛典 氏



岩見 麻里 氏 北川 昌彦 氏 内海 勝仁 氏

## インバウンドシンポジウム

## インバウンドシンポジウム

●主催:日本政府観光局 (JNTO)

14:20~15:40

## テーマ 地域の多様な食の力を活用したガストロノミーツーリズム

基調講演: 地域のためのガストロノミーツーリズム

パネルディスカッション: 食によるインバウンド誘致と受入に向けた取り組み

## 食を取り口に、地域の文化や自然に通じるストーリーを

2024年の訪日旅行者による飲食消費額が約1.7兆円に達するなか、杉山氏は「食はインバウンド旅行者の誘致と消費拡大・地方誘客に向けた起爆剤になる重要なコンテンツ」とし、和食と伝統的酒造りがユネスコ世界無形文化遺産に登録されたことや、和食が「文化芸術基本法」に加えられたことも追い風だと話した。受け入れ側には、需要に追われるのではなく、時期ごとにターゲット市場を選定し、「食はすべてにつながっている」という視点で、戦略的に取り組むべきだと提言した。

若松理事は、世界22カ国を対象にしたJNTOの調査で「海外旅行の目的」の圧倒的1位が「ガストロノミー・美食」だったことに触れ、「6000万人誘致に向けて、地方誘客のツーリズムに向けた開発を」と促した。ガストロノミーツーリズム先進国のスペインでは、「スペインワイン都市協会(ACEVIN)が開発したワインルートが、地域横断型、体験型で持続可能な観光の提供につながっている」と袴田氏。文化や歴史との親和性が高いことも食の魅力だと話した。

「愛知『発酵食文化』振興協議会」が発足しており、味噌、醤油、みりん、酒などの発酵食文化を観光資源と捉えることで、「風土や歴史、人々の探求心など、説得力あるストーリー」(武田氏)が広がっている。

訪日客の多様化に伴い、重要度が増しているベジタリアン・ヴィーガン対応については、垣本氏が「完全菜食メニューは今や世界標準。ワールドクラスの菜食基準を取り入れた郷土の特色を生かしたメニュー開発を」と促した。ガストロノミーツーリズム先進国のスペインでは、「スペインワイン都市協会(ACEVIN)が開発したワインルートが、地域横断型、体験型で持続可能な観光の提供につながっている」と袴田氏。文化や歴史との親和性が高いことも食の魅力だと話した。

基調講演 杉山 尚美 氏 (ガストロノミーツーリズム研究所 CEO)

## パネルディスカッション

ファシリテーター 若松 務 (日本政府観光局 (JNTO) 理事)

パネリスト 武田 光弘 氏 (愛知県 観光コンベンション局 顧問)

垣本 充 氏 (認定NPO法人日本ベジタリアン協会 代表)

袴田 みさ 氏 (スペイン大使館 観光部 インフォメーションオフィサー)



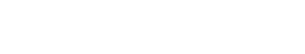
杉山 尚美 氏



若松 勿 氏



武田 光弘 氏



垣本 充 氏

袴田 みさ 氏

## 休み方改革シンポジウム

●主催:全国知事会「休み方改革プロジェクトチーム」、愛知県

16:30~17:50

## 休み方改革シンポジウム

●主催:全国知事会「休み方改革プロジェクトチーム」、愛知県

## テーマ 「休み方改革」で日本の観光を変える!

基調講演: 休み方改革と観光振興を加速させるラーニング

## パネルディスカッション: 家族の時間と平日の観光需要を増やす

冒頭、大村秀章愛知県知事はビデオメッセージで、「休み方改革」の推進への意気込みを伝え、観光庁次長の木村典央氏も来賓挨拶で、家族休暇を推進する先進的な事例である同県の取り組みをきっかけとした、休暇に対する国民意識の改革に期待を表明した。

基調講演では鮫島卓氏が、家族との時間を通じて子供達が学びを広げることを目指すラーニングについて紹介。「2023年にこれを導入した愛知県の公立学校では、子供達が年3日までラーニングを取得できる」と説明した。さらに、11月21日から27日までのあいちウィーク期間中、平日1日を「県民の日学校ホリデー」に指定し、学校休日とする取組も実施されており、これらの日には保護者も有給休暇の取得が推進されていると述べた。こうした動きが広がることで保護者のワーク・ライフ・バランスの充実と観光需要の平準化が望めるとした。

続くパネルディスカッションで中野氏は、2024年

の調査では「県民の日学校ホリデー」に有給休暇を取得した小学生の保護者は33.5%だったことを報告。花村氏は、あいちウィークに合わせた自社レジャー施設の割引や電車・バスの乗り放題きっぷの販売などについて説明した。時松氏は、別府市で2年前に始まった「たびスタ」休暇について紹介。「別府には観光業従事者が多く、親子の時間が少ないという声があった」と語り、今年度は年5日まで、学校を休み、家族と過ごすことのできるこの制度は、申請者も増加傾向で概ね高評価を得ているとした。

主催者挨拶 大村 秀章 (愛知県知事) [ビデオメッセージ]

来賓挨拶 木村 典央 氏 (観光庁 次長)

基調講演 鮫島 卓 氏 (駒沢女子大学 観光文化学部 教授)

## パネルディスカッション

ファシリテーター 鮫島 卓 氏 (駒沢女子大学 観光文化学部 教授)

パネリスト 中野 正明 氏 (愛知県民文化局県民生活部 県民総務課長)

時松 哲也 氏 (別府市教育委員会 教育政策課参事)

花村 元気 氏 (名古屋鉄道株式会社 地域連携部 ツーリズム担当課長)



大村 秀章 知事



木村 典央 氏



鮫島 卓 氏



中野 正明 氏



時松 哲也 氏

花村 元気 氏

## ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー

9月25日(木)・26日(金) 会議室M2/M3/M4/Aステージ

## 時代の先を行く新しいツーリズムのカタチを様々なテーマで発信!

観光業界関係者向けプログラム「ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー」は、スクリーン/コンテンツ・ツーリズムやワーケーションといった新しい旅のカタチをはじめ、コロナ禍を経て回復基調にあるクルーズ市場の動向など、未来の観光産業を担う業界人必聴のコンテンツを集めて展開された。

UN Tourismアジア太平洋地域事務所長 就任特別企画  
「ネット配信時代のコンテンツ・ツーリズム」～最近のUN Tourism報告書から～

●主催:世界観光機関(UN Tourism) アジア太平洋地域事務所/観光庁

## 官民協力で地方の魅力を配信。スクリーン・ツーリズムの物語体験

9月26日に世界観光機関(UN Tourism)アジア太平洋地域事務所と観光庁共催による、「ネット配信時代のコンテンツ・ツーリズム」をテーマにした講演とトークセッションが行われた。

冒頭挨拶で観光庁の木村次長は、UN Tourism及びアジア太平洋地域事務所との連携を一層強化し、世界及び日本の観光の発展のために貢献していくことを明らかにした。

続いて、金子アジア太平洋地域事務所長がUN Tourismの観光産業における役割や課題、抱負や展望について「今後の挑戦と新展開」と題する基調講演を行った。金子所長は、日本のアニメやドラマ、VTuberなど映像コンテンツによる文化的親和性が近年「スクリーン・ツーリズム」としてインバウンド旅行者誘致にも大きな役割を担っていることを強調。地方自治体や観光協会など地域連携により、住民との共調を図りながら、サステナブルなスクリーン/コンテンツ・ツーリズムの構築を訴えた。

トークセッションではJTBパブリッシングの古関氏が、JTBとしてロケ地手配をした際の成功事例から、コンテンツの舞台地に

おける物語体験の重要性について語った。続いて日本政府観光局(JNTO)の門脇氏は、コンテンツ側との協力で舞台地の魅力を発信する一方、オーバーツーリズムの緩和には官民の協力による付加価値づくり、地域の受け入れ体制の整備が必要と述べた。



## 【登壇者】

主催者挨拶:木村 典央(観光庁 次長)

基調講演:金子 正志(世界観光機関(UN Tourism) アジア太平洋地域事務所長)

トークセッション登壇者:古関 和典氏(株式会社JTBパブリッシング 交流プロデュース部 マネージャー)

門脇 啓太氏(日本政府観光局(JNTO) 総務部 次長)

## 企業と地域をつなぐ「第2のふるさと」とは?

●主催:観光庁

## 地域資源を再編集し、Win-Winの関係を築こう

今年度から展開されている企業と地域の関係人口化を目指した「企業版第2のふるさとづくりモデル」。観光庁の根来参事官は、インバウンド活況の一方で、横ばい状態の国内旅行市場には企業の利益に繋がる業務型ワーケーションなども起爆剤になると指摘し、「企業と地域の結びつきを強めて継続的な来訪につなげるとともに、課題解決につながるモデルを目指している」と説明。地域代表として香川県琴平町の近江氏は、人口減少や事業者間のつながりの弱さといった課題を抱える琴平町では、「何度も訪れたくなるまち」をテーマに、若者向けモニターツアーや、兼業・副業が可能な社会人と地元事業者のマッチングを進めてきたと経緯を説明し、新たに地域側の人材育成や観光まちづくりに関心のある企業と協働し地域課題の解決にも挑戦する意気込みを示した。小杉氏は先進事例の一つとして知られている北海道浦幌町の事例を紹介。「うらほろアカデメイア」による人材育成や、フード業界の知見を活かした環境再生型農業への挑戦など、ワーケーションを起点に官民共創型の地域づくりを進めているとした。

また、パネルディスカッションでは、地域と企業が末永い関係を築くために必要なことが議論され、小杉氏が「相互理解、近



## 【登壇者】

講 師:根来 恭子(観光庁 参事官〔旅行振興〕)

ファシリテーター:山口 純士氏  
(株式会社HAKUHODO DESIGN 代表取締役共同CEO)パネリスト:近江 淳氏(株式会社地方創生 代表取締役社長)  
小杉 明氏(株式会社インフォマート 事業企画部門 シニアマネージャー  
社会貢献担当)

## クルーズの売り方・伸ばし方・拡げ方～市場拡大に向けたクルーズ旅行の販売促進～

●主催:ツーリズムEXPOジャパン推進室

9月26日(金)  
14:30~16:00  
Aステージ

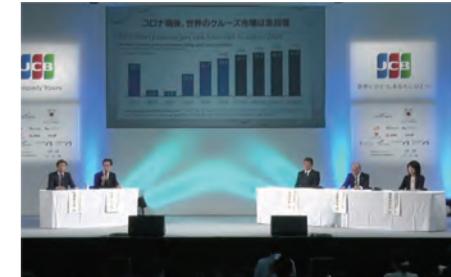
## 世界のクルーズ市場が拡大するなか、課題は日本市場をどう盛り上げるか

セミナーは2部構成で、第1部ではみなど総合研究財団の沖田氏がクルーズマーケットの最新動向について講演し、「世界のクルーズ市場は2023年にコロナ前の水準を超え、2024年には約3500万人に達した一方、日本市場の回復は緩やかで、2023年はコロナ前の半分程度の回復にとどまっている」とした。

第2部のパネルディスカッションでは、各パネリストが自社の取り組みや市場分析を共有。那須氏は商船三井クルーズの「にっぽん丸」が2026年5月に引退予定であることや、新たに「三井オーシャンフジ」と「三井オーシャンサクラ」を就航させる計画を紹介した。小泉氏は名鉄観光のクルーズ販売戦略と、日本人客の予約が遅いという課題を指摘。齊藤氏は名古屋港のクルーズ船受け入れ施設と今後の展望について説明した。

議論の後半では、2030年までに日本のクルーズ人口を100万人にするという国土交通省の目標達成に向けた課題と戦略が話し合われた。特に、カジュアルクラスの外国船の誘致拡大、クルーズ未経験者への訴求、旅行会社のクルーズ販売力強化などが重

要な施策として挙げられた。松浦氏は最後に、日本のクルーズ市場はアメリカから50年遅れているものの、大きな成長の可能性を秘めていると締めくくった。



## 【登壇者】

## 第1部

講師:沖田一弘氏(みなど総合研究財団首席研究員兼クルーズ総合研究所副所長)

## 第2部

モデレーター:松浦 賢太郎氏(クルーズのゆか俱楽部株式会社代表取締役社長)

パネリスト:齊藤 あゆみ氏(名古屋港管理組合港営部 みなど振興課・課長)  
小泉 芳弘氏(名鉄観光サービス株式会社 商品事業本部クルーズセクション部長)

那須 洋紀氏(商船三井クルーズ株式会社 営業戦略販売グループ次長)

## ■ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー タイムテーブル

日 時	場 所	講演タイトル	主 催
9/25 (木)	M2	オンライン販売拡大を目指す旅行会社のDXとは?	日鉄ソリューションズ株式会社
		旅行ビジネスの現場で直面する法務課題 ～海外取引・契約トラブル・規制対応の実践ポイント～	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
		「自然との共生を」を体感する旅へ ～国が認定する自然共生サイトをはじめとした良好な環境を舞台に～	一般社団法人日本旅行業協会 国内旅行推進部 (共催:環境省)
		「るるぶ」と「デジタル」のチカラで海外市場へアプローチ!	JTBパブリッシング/ディアライブ/Vpon JAPAN/Alibaba JAPAN
9/26 (金)	M3	テクノロジーと経験が紡ぐ観光産業の未来 ～観光予報プラットフォームによる地域HUB機能への貢献～ 【データ活用事例とDMO登録制度ガイドライン変更に伴う観光予報プラットフォームの貢献】	観光予報プラットフォーム推進協議会
		テクノロジーと経験が紡ぐ観光産業の未来 ～観光予報プラットフォームによる地域HUB機能への貢献～ 【観光予報プラットフォーム推進協議会が推薦するDMOのためのサービス】	観光予報プラットフォーム推進協議会
		日本観光振興協会 観光DX支援セミナー	公益社団法人日本観光振興協会
		旅行業の進化と連携 一体験・宿泊・移動、サービスを編み上げる新しいモデル つながる星空観光への「成功の秘訣」 ～宙ツーリズムで生み出すリビーター戦略～	フォルシア株式会社 一般社団法人宙ツーリズム推進協議会
9/26 (金)	M4	UN Tourismアジア太平洋地域事務所長 就任特別企画 「ネット配信時代のコンテンツ・ツーリズム」～最近のUN Tourism報告書から～	世界観光機関(UN Tourism)アジア太平洋地域事務所/観光庁
		旅行ビジネスの現場で直面する法務課題 ～海外取引・契約トラブル・規制対応の実践ポイント～	西村あさひ法律事務所・外国法共同事業
		日本旅行業協会が考えるカスタマーハラスメント対応	一般社団法人日本旅行業協会 消費者相談部
		企業と地域をつなぐ「第2のふるさと」とは?	観光庁
	M3	「D-NEXT」観光地域診断セミナー	公益社団法人日本観光振興協会
		今更きけない、旅行契約の基礎講座	一般社団法人日本旅行業協会
		観光DX検定/観光地経営人材認証のご紹介	公益社団法人日本観光振興協会
		インバウンド高付加価値への挑戦!!～伝統文化を地方誘客の切り札に～	一般社団法人日本旅行業協会
	M4	各地域酒蔵ツーリズムの取り組み	日本酒蔵ツーリズム推進協議会
		日本遺産ツーリズムセミナー～「日本遺産 御周印」と各地の取組事例～	公益社団法人日本観光振興協会
		クルーズの売り方・伸ばし方・拡げ方～市場拡大に向けたクルーズ旅行の販売促進～	ツーリズムEXPOジャパン推進室



# 第9回 「ジャパン・ツーリズム・アワード」



表彰式: 9月25日(木) 10:10~11:00 会議室L3~L5

主 催: 公益社団法人日本観光振興協会/一般社団法人日本旅行業協会(JATA)/日本政府観光局(JNTO)  
協 賛: 株式会社ジェーシービー

## 件数は213件と前回から100件近い大幅増に 酒蔵ホテル®「KURABITO STAY」が国土交通大臣賞

ツーリズムの発展・拡大に貢献し、「旅のチカラ」にあふれた取組を顕彰する「ジャパン・ツーリズム・アワード」。第9回を迎えた今年は応募件数が213件と、昨年(119件)を大きく上回るエントリーが集まった。その中から、イノベーションを促す革新性、「稼ぐ地域」の実現につながる事業性、持続可能な観光への貢献、地域活性化への貢献をポイントに各賞が選定された。

その結果、国土交通大臣賞は「酒蔵から始まる、地方創生と日本酒ツーリズムの可能性を創る酒蔵ホテル®「KURABITO STAY」」、経済産業大臣賞は「ひがし北海道・交通事業者がつなぐエリアまる

ごと観光DX」が受賞した。他に観光庁長官賞などを含めた全体で7賞・31件の取組と、14件の入賞の取組が受賞しTEJ2025の会場で表彰式が行われた。

国土交通大臣賞となったKURABITO STAYの田澤代表は受賞コメントで「憧れの舞台でこうして表彰を受けることができ、ツーリズムに従事してきた15年間で一番嬉しい瞬間です」と感激に言葉を詰ませた。また本保審査委員長は「以前にも増して多様性に富んだ取組が寄せられ課題にしっかりと向き合った取組が多かった」と講評した。

## 国土交通大臣賞

### ◎株式会社KURABITO STAY

酒蔵から始まる、地方創生と日本酒ツーリズムの可能性を創る酒蔵ホテル®「KURABITO STAY」

※「学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード」との同時受賞

#### ＜選考ポイント＞

外国人旅行者にも人気の高い日本酒。酒蔵を切り口に地域全体で観光資源としての磨き上げを図る持続可能な地方創生モデルとして、文化継承への貢献も加え、高く評価した。本格的な蔵人体验に加え、蔵人宿舎をリノベーションした宿泊施設の提供などを通じて、体验価値と付加価値の向上を実現し、実績につなげている点が素晴らしい。今後は全国の地方創生モデルとして波及効果を期待したい。



KURABITO STAY代表 田澤麻里香氏のコメント  
「当初は誰も来ないと悲観されたが、31カ国から800人を超える旅行客が集まるようになった。全国に蔵元は1,300ある。酒蔵ツーリズムを盛り上げられるよう事業を磨き発展させたい」

## 経済産業大臣賞

### ◎ひがし北海道観光DXプラットフォーム(阿寒バス・斜里バス・網走バス・根室交通・北海道拓殖バス・NECソリューションイノベータ・ひがし北海道自然美への道DMO・釧路観光コンベンション協会・北海道エアポート)

ひがし北海道・交通事業者がつなぐエリアまるごと観光DX

#### ＜選考ポイント＞

広域連携によるデジタル基盤の共通化と観光DXの取組として優れた事例。多くの交通事業者が連携・共創し、経営の効率化と利用者の利便性向上を図りつつ新たな観光需要を取り込んでおり、二次交通の課題を抱える他の地域にとっても再現性のあるモデルとして高く評価した。地域全体のコミュニティ形成にも繋げており、持続可能な観光及び地域活性化に貢献している点も素晴らしい。



阿寒バス営業本部取締役 西岡一氏のコメント  
「複数の交通事業者と沢山の観光事業者で良い連携ができ受賞に至った。今後も「いい旅」の情報発信を継続していく。また受賞をきっかけに、より広いエリアでの連携を図っていきたい」

## 審査委員特別賞(23団体)

北海道エアポート株式会社 釧路空港事業所 滑走路から見る満天の星と航空灯火/伊勢志摩フィルムコミッショ 伊勢志摩フィルムコミッショ 伊勢志摩フィルムコミッショのスクリーンツーリズム～地域と作品の架け橋(聖地巡礼から海外発信まで)～/株式会社郡中トラベル 「交通・観光連携型事業(地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化)」計画/一般社団法人美浜まちラボ 野間

灯台登れる化プロジェクト/一般財団法人矢掛町 観光交流推進機構 限界集落におけるキャンプ施設と一時避難所の運営/株式会社金沢アドベンチャーズ 復興支援と持続的な観光地づくりを目指す「行かないで!能登」旅して応援バスツアー/JR西日本グループ、KNT-CTホールディングスグループ、株式会社クオラス、福井銀行グループ、京福バス株式会社 福井エリアの地域課題解決のための「新感覚XRバス WOW RIDE いこっさ!福井号」の導入/THE TOKYO PASS-Cultureプロジェクト(事務局:株式会社丹青社) 東京都内での文化観光をより快適・豊かにするための

入子育てコミュニティKADAN 草刈りツーリズムプロジェクト/SUZU GROUP(有限会社寿々瀧) 新潟の日常を編集して伝える、地域の風土を味わうジオ・ガストロミーツーリズム/JR西日本グループ、KNT-CTホールディングスグループ、株式会社クオラス、福井銀行グループ、京福バス株式会社 福井エリアの地域課題解決のための「新感覚XRバス WOW RIDE いこっさ!福井号」の導入/THE TOKYO PASS-Cultureプロジェクト(事務局:株式会社丹青社) 東京都内での文化観光をより快適・豊かにするための

## 観光庁長官賞(3団体)

### ◎愛知県立足助高等学校 観光ビジネスコース

「高校生トラベル®」ブランドを核とした関係人口創出と観光産業人材育成、持続可能な観光推進モデル

#### ＜選考ポイント＞

高校生が観光交流や観光ビジネスを学ぶ機会を得ることは、地域の観光振興や将来の日本における観光人材育成の観点からも非常に意義がある。実践的で多様性のあるプログラム、地域内外との連携等、高校レベルの観光教育として正に模範となる取組であると評価した。他の自治体や教育機関へのモデルとして全国各地での展開を期待する。



### ◎株式会社シークルーズ

人口2.3万の街で地場企業投資60億円を生み出す!「鉄路×航路が地域を変えたデザイン&ストーリー」

#### ＜選考ポイント＞

鉄路と航路を担う事業者が協働し、二次交通など現状のアクセスの課題を改善し、より魅力的な美しい国立公園内のルート化を図って広域の観光振興を創出させようとの試みはかなり効果的であり高く評価した。単発、短期間の事業に終わらず、長期にわたり継続して多面的に観光開発に取り組み、実績を上げている点も素晴らしい。



### ◎株式会社wondertrunk&co.

富山を世界のデステイネーションへ:地域一体のモダンラグジュアリー戦略の推進 ~富山県が4年でNY Timesの行くべき52の場所に選出されるまで~

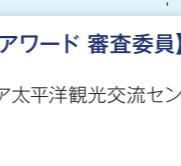
#### ＜選考ポイント＞

欧米のモダンラグジュアリー層にターゲットを絞ったメディア戦略や地域のツアーアイデアを実現する、行政・民間・DMO間の連携の良さ、個々の取組の質の高さ等は高く評価される。文化・



### ◎認定NPO法人みちのくトレイルクラブ

みちのく潮風トレイル  
～海を見ながら歩ける1,000キロ みんなで育てる長く歩く旅の道～

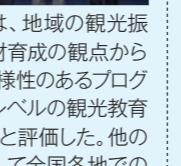


経済・暮らしなど多面的に活性化にも貢献しており、今後も継続的な取組と地域関係者との共創による成功事例の積み重ねを期待する。

## 実行委員長賞

### ◎トルコ共和国大使館文化観光局/ターキッシュエアラインズ

南東トルコの需要創造への取り組み



#### ＜選考ポイント＞

特定のマーケットをターゲットにして、官と民が連携して、積極的にデステイネーション開発を行う方法や内容について日本も見習うべき点があり、観光振興の取組を継続的に行っている事を評価した。トルコ政府と航空会社、旅行会社の更なる連携及び双方向での国際交流の進展を期待し、「実行委員長賞」に選出した。

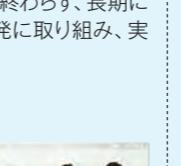


## UN Tourism 特別賞(2団体)

### ◎ウズベキスタン国家観光委員会(TOURISM COMMITTEE OF THE REPUBLIC OF UZBEKISTAN)

観光村プロジェクト

一貧困削減と持続可能な観光開発



#### ＜選考ポイント＞

地域の自然・暮らし・文化・伝統を尊重し活かしつつ、官民で連携して観光地としての魅力を高め、雇用機会を創出し、持続可能な観光と地域の長期的な発展に取り組んでいる点が優れている。また、当該プロジェクトの村の1つがUN Tourismのベスト・ツーリズム・ビレッジにも選出され、他の観光村のモデルとなる点も評価できる。

### ◎株式会社JTB高松支店

「クセモノは地域のタカラモノ」SICSサステナブルラウンジ

※「審査委員特別賞」との同時受賞



#### ＜選考ポイント＞

労働力不足や漁獲量減少など様々な問題が本取組の背景にあるが、地域で活用されていなかった食材を上手に取り入れ、フードロスの削減に貢献しているだけでなく、学校など教育現場も巻き込んで地域づくりを進めている点が印象的で評価できる。未来を担う世代が、社会問題や持続可能な社会への貢献を意識するきっかけにもなり、効果的である。

## ＜選考ポイント＞

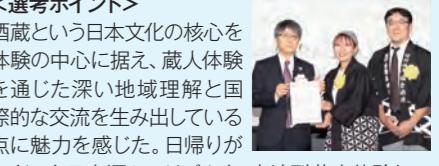
東日本大震災からの復興に向けて、広域の様々な関係者が連携・参画して、長さ1,000kmにわたるロングトレイルに取り組んでいる点が評価できる。また、トレイルとそこから生まれる人々との交流を通じて、その土地の自然や歴史、文化の継承を図っている点においても優れている。

## 学生が選ぶジャパン・ツーリズム・アワード(2団体)

### ◎株式会社KURABITO STAY

酒蔵から始まる、地方創生と日本酒ツーリズムの可能性を創る酒蔵ホテル®「KURABITO STAY」

※「国土交通大臣賞」との同時受賞

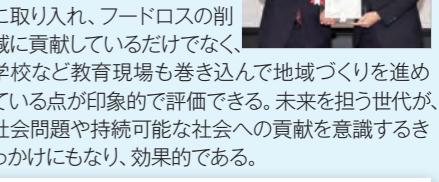


主だった日本酒ツーリズムを、宿泊型蔵人体验という新しい形で深化させた点が革新的であり、本コンцепトを世界で初めて作った発想の柔軟さや新たな取組に挑戦する姿勢は高く評価できる。

### ◎株式会社JTB高松支店

「クセモノは地域のタカラモノ」SICSサステナブルラウンジ

※「審査委員特別賞」との同時受賞



労働力不足や漁獲量減少など様々な問題が本取組の背景にあるが、地域で活用されていなかった食材を上手に取り入れ、フードロスの削減に貢献しているだけでなく、学校など教育現場も巻き込んで地域づくりを進めている点が印象的で評価できる。未来を担う世代が、社会問題や持続可能な社会への貢献を意識するきっかけにもなり、効果的である。

訪日外国人向けサービス「THE TOKYO PASS-Culture」/Smile∞Ribbon(スマイル∞リボン) 神秘の光・海ホタル! 淡路島の安全なビーチで「世界初!ココだけ!の海ホタルショー」を開催! /佐賀県関係人口創出チャレンジ事業協議会

ロマンシング佐賀10周年/株式会社JTB、一般社団法人次世代教育ネットワーキング機構 全国で地域観光DX人財育成のための学びの場を提供、地域の中高生がデータを駆使して地域の未来を切り拓く! ~未来探究ゼミナール・未来探究祭~

八女商工会議所 八女福島観光プロジェクト

さき縁農プロジェクト~弘前市のりんご産業支援を通じた地域活性化を目指して~

遠野ふるさと村 遠野ふるさと村 どべっこ祭り/一般社団法人SOE 新潮流:「伝統×異業種」が育む、持続可能な地域のリジネラティブ・ツーリズム

## 入賞(14団体)

# WELCOME RECEPTION

## 【登壇者】

ご来賓：国土交通大臣政務官 吉井章氏／復興大臣／中部国際空港拡充議員連盟 会長 伊藤忠彦氏／自由民主党 観光立国調査会 会長/参議院議員 鶴保庸介氏／一般社団法人全国旅行業協会 名誉会長／一般社団法人国土強靭化研究所 会長 二階俊博氏／一般社団法人国土強靭化研究所 代表理事 林幹雄氏／国土交通省 観光庁長官 村田茂樹氏／愛知県知事 大村秀章氏／三重県知事 一見勝之氏／愛知県常滑市長 伊藤辰矢氏／一般社団法人愛知県観光協会 会長 安藤隆司氏／国土交通省 中部運輸局長 中村広樹氏／インド・ラジャスタン州観光省長官 ルクマニ・リアール氏／世界観光機関（UN Tourism）エグゼクティブ・ディレクター ジリッツア・ウロセヴィック氏／世界観光機関（UN Tourism）アジア太平洋地域事務所長 金子正志氏／世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）アジア地域部長 サラ・ワン氏／太平洋アジア観光協会（PATA）会長 ピーター・シモン氏／アドベンチャー・トラベル・トレード・アソシエーション プレジデント グスタヴオ・ティモ氏／ヨーロッパ観光委員会（ETC）マーケティング・広報ディレクター ミケル・ガジェゴ氏／東アジア・アセアン経済研究センター マネージングディレクター アラジン・リロ氏／オーストラリア連邦 観光補佐大臣 ニータ・グリーン氏／カンボジア王国 観光大臣 フオット・ハク氏／スロベニア共和国 経済観光スポーツ省 観光局長 ドウブラウカ・カラシン氏／ウルグアイ東方共和国 観光副大臣 アナ・クラウディア・カラム氏／株式会社ジェーシービー 代表取締役会長 兼 執行役員社長 二重孝好氏／中部国際空港株式会社 代表取締役社長 篠橋寛典氏／東海旅客鉄道株式会社 常務執行役員 営業本部長 柳原篤氏／近鉄グループホールディングス 執行役員 山本寛氏／日本航空株式会社 取締役会長 赤坂祐二氏／ANAホールディングス株式会社 取締役会長 片野坂真哉氏／スターラックス航空 日本支社 ディレクター 松本晶氏／日本空港ビルディング株式会社 取締役 専務執行役員 藤野威氏

主催者：日本政府観光局（JNTO）理事長 蒲生篤実／一般社団法人日本旅行業協会 会長 高橋広行／公益社団法人日本観光振興協会 理事長 最明仁

日本政府観光局（JNTO）  
理事長 蒲生 篤実

愛知県は20年前に愛・地球博を開催し、今回TEJ初開催となった。大阪では現在、万博を開催中だ。また2027年には横浜で園芸博覧会が開催される。観光業界にとり万博は歴史で大きな影響力を持ち、このTEJは観光業界の万博として重要なテーマだ。テーマは「旅は“知”的”の再発見」。「知」とは旅の体験から多くを学べることを意味する。TEJではツーリズムという共通言語を介して多くの人々と交流し、旅の素晴らしさを再発見してもらいたい」と続けた。その後、日本の観光産業を牽引する政界関係者や

愛知県での初開催に尽力した関係者らが相次いで登壇。全国旅行業協会の二階俊博氏が「我々日本人はともすれば静かすぎる。地域を挙げて歓迎の意を伝えるため旅行者を大歓迎しよう」と呼びかけた。ビデオメッセージを寄せた菅義偉元首相も参加者に向けて「ようこそ。

国土交通大臣政務官  
吉井 章氏復興大臣  
伊藤 忠彦氏元内閣総理大臣  
菅 義偉氏一般社団法人全国旅行業協会 名誉会長  
国土強靭化研究所 会長 二階 俊博氏

我が国はTEJや様々な取り組みを通して、世界観光機関などの連携も強化しており、世界及び日本の観光の発展に貢献していく考えだ。訪日外国人旅行者数は過去最速で2800万人を超える強大な成長軌道を描いている。今回のTEJをきっかけに旅への注目度がさらに高まるところに、TEJの開催によって世界や日本中に伝えていく努力をしたい。そして愛知と中部9県の重要な産業として成長させることで、観光を通じた国内外の交流が拡大し、地域の魅力が存分に発信され、我々が目指す観光立国の実現に資するものになると大いに期待する。

かつて観光立国基本法は議員提案により国会で可決され、その後観光庁はじめ様々な仕組みがつくられることになった。そしていま観光の産業力は、ものづくりの中心地である愛知県でTEJが開催される時代となつた。日本の経済成長の鍵は観光産業が握っていることを、TEJの開催によって世界や日本中に伝えていく努力をしたい。そして愛知と中部9県の重要な産業として成長させることで、観光を通じた国内外の交流が拡大し、地域の魅力が存分に発信され、我々が目指す観光立国の実現に資するものになると大いに期待する。

9月25日（木）18:00～19:45  
展示ホールB

愛知県知事  
大村 秀章氏世界観光機関（UN Tourism）  
アジア太平洋地域事務所長 金子 正志氏自由民主党 観光立国調査会 会長  
参議院議員 鶴保 庸介氏ツーリズム EXPO ジャパン 2025 愛知・中部北陸  
スペシャル・サポート 瀬戸 朝香さん

世界最大級の旅の祭典であるTEJは愛知県に誇らしく、10年かかった。日本初の国際空港直結型の展示場、Aichi Sky Expoを全館を使ってTEJを開催でき光栄だ。愛知県は例年の4倍規模のブースを出展。初めて中部9県との共同ブースも設けたので多彩な魅力を感じてほしい。7月にはIGARINAがグランドオープン。来年秋にはアジア大会・パラ大会も開催予定であり、多くの観光客を呼び込み活力に満ちた愛知県を実現していくつもりだ。



インド・ラジャスタン州観光省長官のルクマニ・リアール氏が音頭を取り、全員で乾杯



## アポイント商談

9月25日(木)・26日(金) 10:00~18:00  
展示ホールC~F 各出展ブース地方開催としての商談件数は過去最大規模  
海外では近隣アジア諸国が拡大傾向に!

展示会場では、各国・地域、国内の1,474ブースが設置され、9月25日(木)、26日(金)の業界日にはブース内に商談スペースが設けられ、バイヤー・セラー間の商談が行われた。

出展したのは海外82カ国・地域、国内45都道府県から1,350の企業・団体。セラー826人に対し、バイヤーは国内外の旅行業界関係者703人、事前アポイントメント制による商談数は地方開催としては過去最多の6,071セッションに上った。海外の旅行会社がグローバルバイヤーとして参加し、訪日、グローバル商談会にも力を入れた。

コロナ禍が終了した後も伸び悩むアウトバウンド旅行市場に、海外のブースは華やかなイベントやプレゼンテーションを行い、



## 商談規模

## セラー:826人

ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸出展者／トラベルソリューション展2025出展者

## バイヤー:703人

旅行会社／グローバルバイヤー／異業種バイヤー

## 商談セッション数:6,071セッション

## 新しいビジネスの出会いの場を提供! セミナー&amp;ネットワーキング (9月25日(木))

参加登録した大手旅行会社をはじめとするバイヤーが着席し、前半30分はセミナー、後半30分はセラーが参加してのネットワーキングという新しい出会いの場を提供した。

## MICEセミナー&amp;ネットワーキング

## 「動く観光資源」がMICEにつながる

セミナーではトヨタ自動車株式会社GRモータースポーツ事業部長の南山要一氏が、同社のモータースポーツ・ラリーと観光を組み合わせたラリーツーリズムの可能性について語った。南山氏は、過去に群馬県渋川市伊香保町や北海道石狩市などで開催されたラリー・チャレンジを紹介し、ラリーと観光は、ともに非日常の体験の中で地域の魅力を発見できる機会として高い親和性があると指摘。「ラリーはまさに動く観光資源だと思う」と語った。

ネットワーキングでは、バイヤーとMICE誘致に取り組むセラーが、名刺交換をはじめ積極的に交流を図った。

## 教育旅行セミナー&amp;ネットワーク

## 多様化する教育旅行へ新たなアプローチを

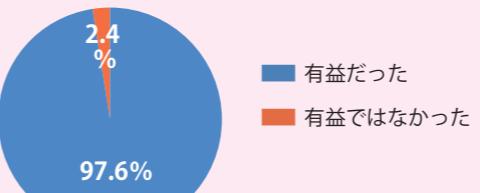
セミナーでは、立教大学名誉教授の村上和夫氏が、昔と今では教育旅行の範囲が広がっており、多様な背景を持つ生徒たちを対象とした修学旅行を企画する難しさについて言及した。今後については、コンテンツツーリズムの可能性や地域の人々との交流の重要性について触れ、これらの新しい観光形態を教育旅行にどう取り入れるかという課題を提起。地域の人々と協働して旅行をつくり上げる新しいアプローチの可能性があるとした(オンライン開催)。

ネットワーキングでは、バイヤーと教育旅行誘致に取り組むセラーが和やかに交流する様子が見られた。

## アポイント商談参加者アンケート

## セラーアンケート結果

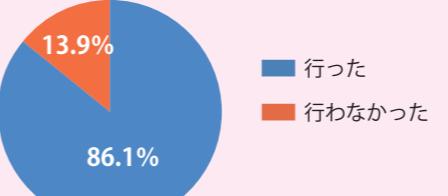
1. 商談は有益でしたか?



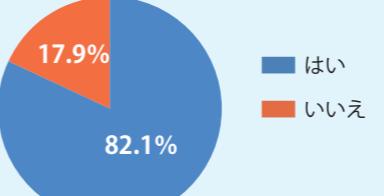
2. 期待していた内容の商談ができましたか?



3. アポイントメント以外の商談を行いましたか?

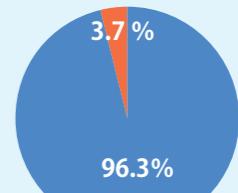


4. 商談したいバイヤーとアポイントメントは入っていましたか?

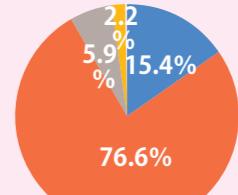


## バイヤーアンケート結果

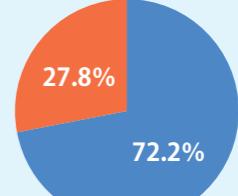
1. 商談は有益でしたか?



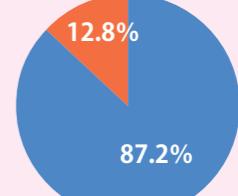
2. 期待していた内容の商談ができましたか?



3. アポイントメント以外の商談を行いましたか?



4. 商談したいセラーとアポイントメントは入っていましたか?



## バイヤーの参加目的と影響力

## ■商談参加目的(複数回答)

新規商品の情報収集・仕入	75.5%
取引先開拓	42.5%
セラーからのマーケット・デステイネーション情報収集	55.3%
その他	4.0%

## 在日外国人とのビジネスセッション

## 国内エリア出展者が海外メディアにPR

9月26日(金)、メディアセンター内で訪日プロモーションに取り組む国内出展者を対象に、在日外国人メディアとの個別商談を実施した。今年度は10名の外国人メディアバイヤーが参加した。今年は、初日25日からの1.5日間は商談システムの利用も可とし、メインの26日PMのセッションは48件が実施された。効果的な商談機会の拡充も実践でき、バイヤー・出展者双方から高評価を得て成功裏に終了した。次年度はさらに充実した内容を目指す。



## VISIT JAPANトラベル&amp;MICEマート(VJTM &amp; VJMM)2025

## TEJ場内ツアーと12コースのファムトリップを実施

9月25日(木)～27日(土)の3日間、TEJの合同開催イベントとして展示ホールAで「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2025」が開催された。今年は33カ国・地域の海外バイヤー約270社が愛知に集合し、日本全国のセラー約330社・団体と約7,500セッションの商談を実施した。

9月26日(金)には、商談会後に行われるファムトリップ12コースのうち、海外バイヤー約230名が、TEJの「中部・北陸共同出展ブース」を訪れ、視察前に訪問エリアの情報収集を行った。



ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 同時開催展示会

# トラベルソリューション展2025

9月25日(木)・26日(金) 10:00~18:00 展示ホールD

●主催: ツーリズムEXPOジャパン

## 観光産業のDXプラットフォームを目指す

9月25日(木)と26日(金)の2日間、TEJ展示会場・ホールDで、観光業界へ向けたDXやインバウンド対応などトラベルソリューションに特化した44企業・団体が出展する「トラベルソリューション展2025」が開催され、観光業者を対象に実演や商談が行われた。

出展したのはAI、IoT、VR/AR、自動翻訳、自動運転、ロボット技術などのDX関連サービス、デジタルマーケティング・コンサルティング企業など。なかでもインバウンド受け入れのための多言語対応システムや接客ツール、ホテルなどの人手不足や業務効率化のソリューションなどに関心が集まった。ユニークなものでは、ペットと旅する電動自転車なども登場し、マッチングシステムを

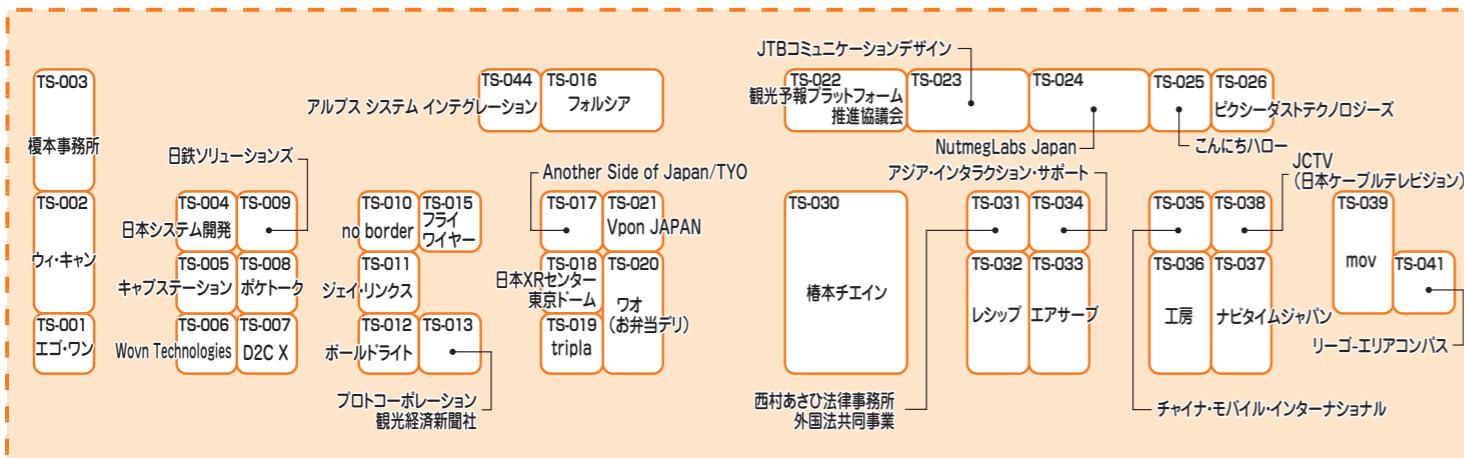
活用した事前のアポイントで終日賑わったブースもあった。大手だけでなく、独自の技術を誇るスタートアップ企業も登場し、会場に若い活気をもたらした。

「ブースでシステムを実演し説明できるのは効果的」「セミナーを開催した後には自由商談が急増した」「本当に関心のある関係者が来てくださり、じっくり説明する余裕があった」など、ポジティブな感想が多く聞かれた。

「インバウンド対応のものに関心が高いようだが、DXは観光業全般にも有効でもっと活用してほしい」「ここを他の業種に比べ幾分遅れ気味の観光業のDXリテラシーを高めるプラットフォームとしたい」など、意欲的な意見も聞かれた。

### 主な出展分野

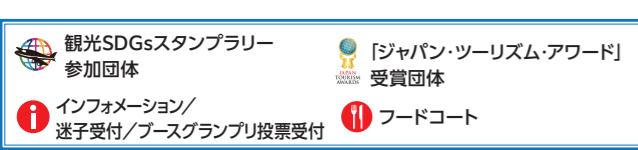
リモート接客・案内システム、オリジナルデジタルマップ構築プラットフォーム、AI画像認識技術サービス、XR (VR/MR) 技術を活用した観光コンテンツ・アトラクションの導入支援、旅行用SIMサービスなど



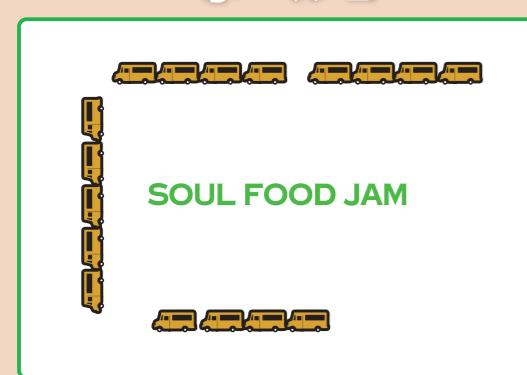
# ホール C

ホール D

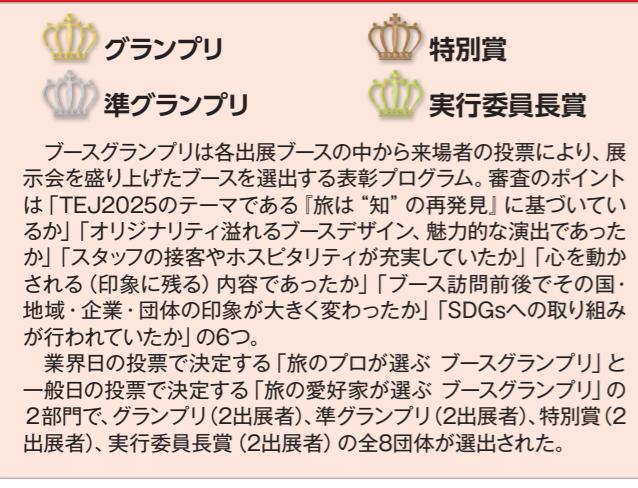
## フロアマップ (ホール B/C/D)



## ホールB



## ブースグランプリ

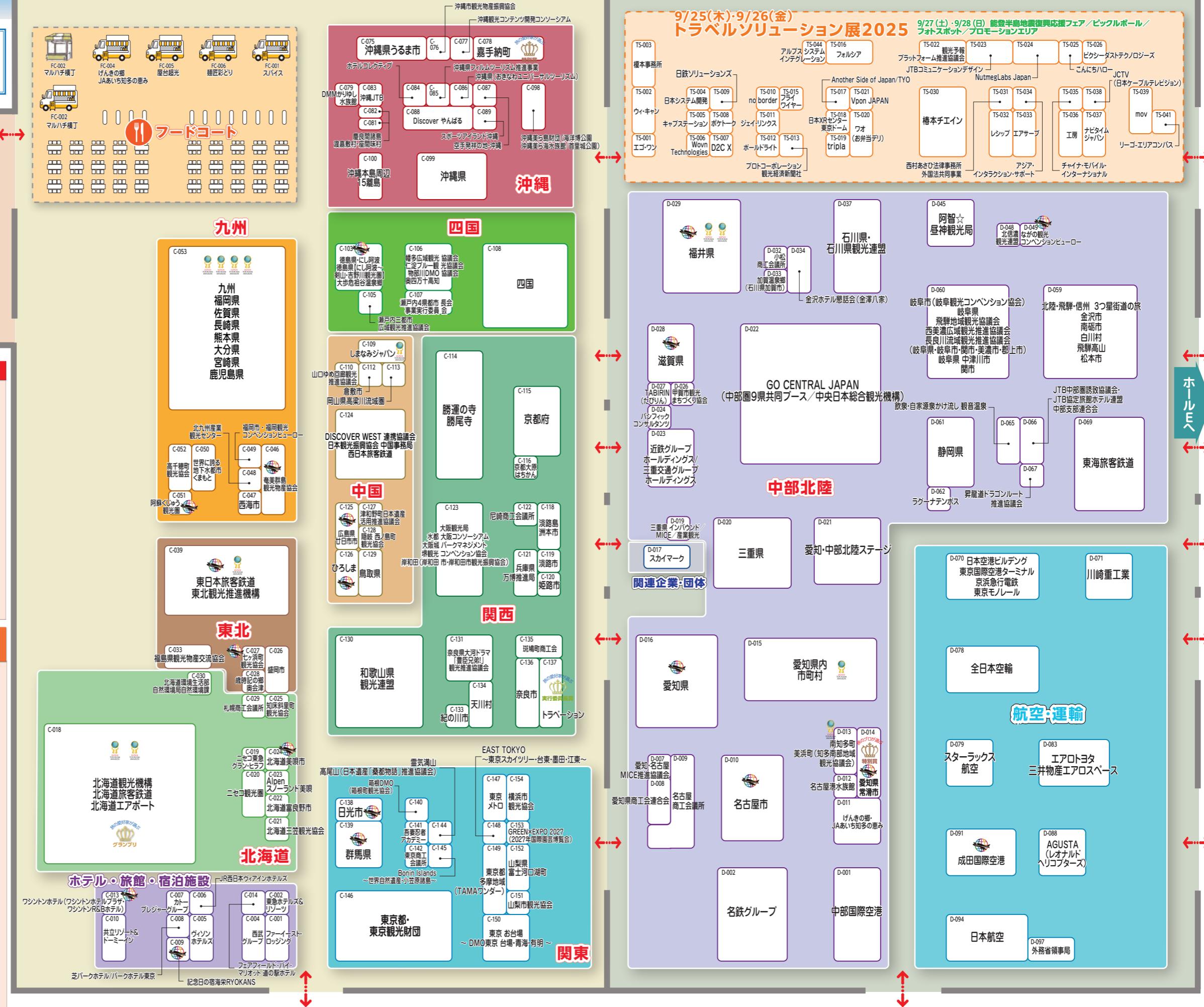


## ～旅のプロが選ぶ ブースグランプリ～

業界日の投票にて決定!(投票者:業界日来場者、関係者)



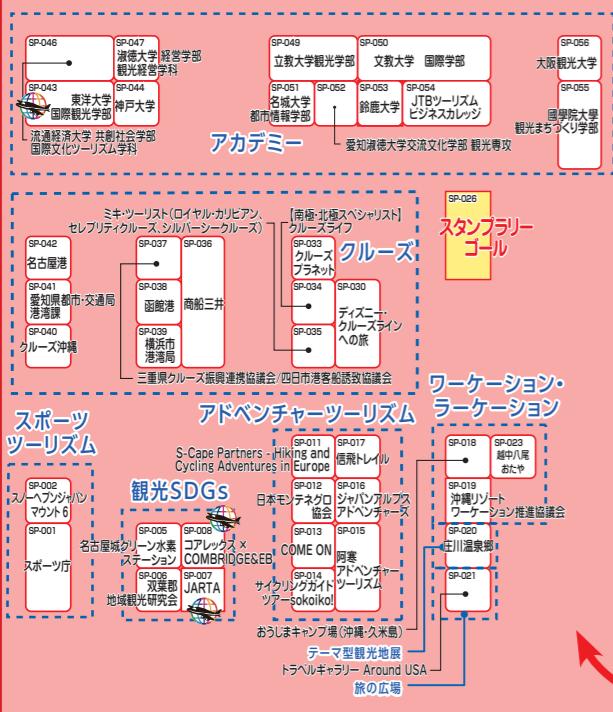
準グランプリ  
タイ国政府観光庁



## フロアマップ(ホール E/F)

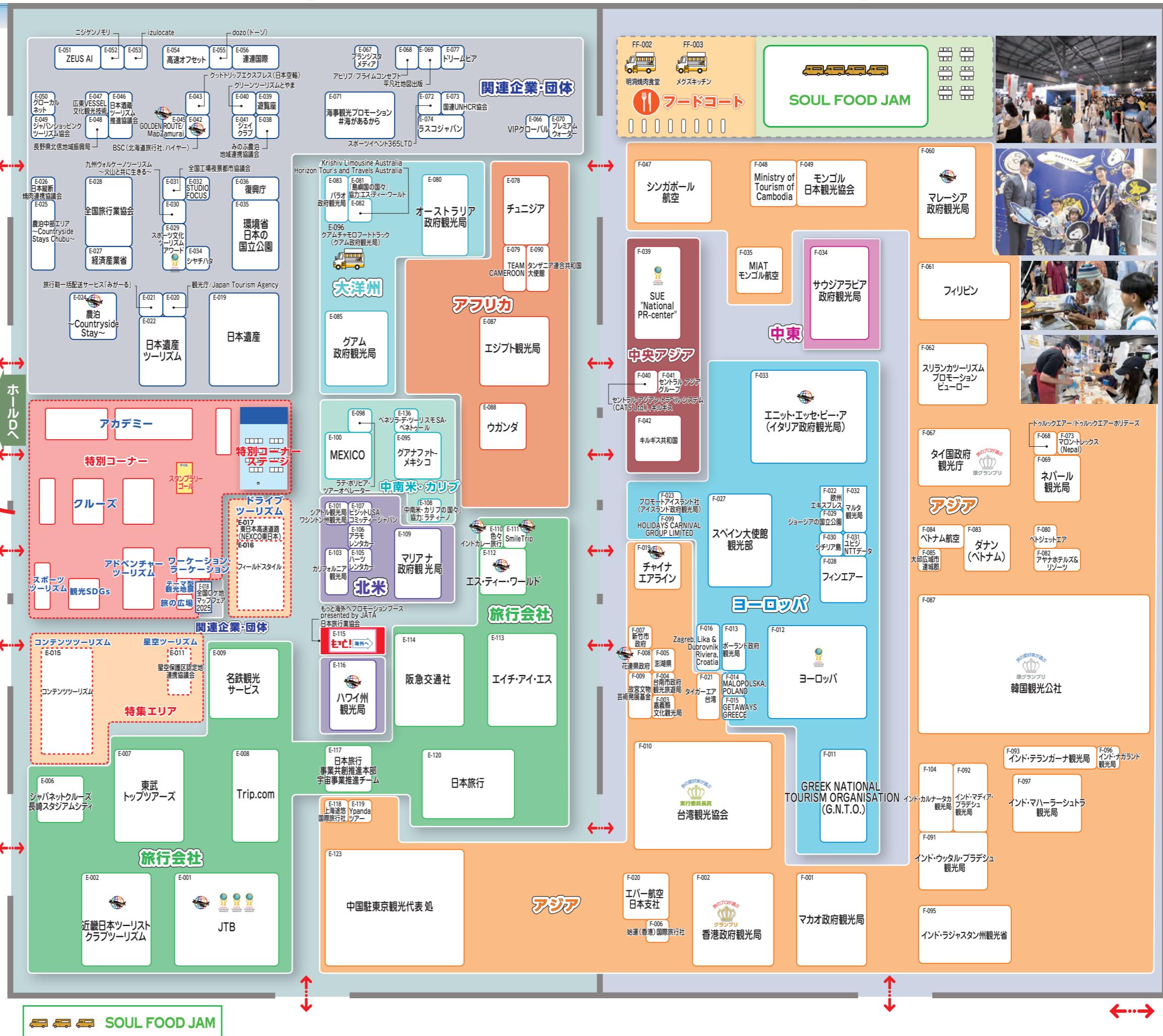
観光SDGsスタンプラリー  
参加団体  
「ジャパン・ツーリズム・アワード」  
受賞団体  
① インフォメーション/  
迷子受付/ブースグランプリ投票受付  
② フードコート

## 特別コーナーマップ



## ~旅の愛好家が選ぶ ブースグランプリ~

一般日の投票にて決定!(投票者:一般日来場者)



※役職は開催当時

## 内覧風景



## 表敬訪問



## GO CENTRAL JAPAN (中部圏9県共同ブース/中央日本総合観光機構)

## 地域間が連携して魅力を発信、商品造成や共同プロモーションも実施された共同ブースを展開

国内旅行展示の目玉で、オープニングセレモニーにメッセージを寄せた石破茂首相（当時）が「地域間が連携して魅力を発信しており、地方創生の観点からも重要だ」と言及したのが、中部圏9県共同ブースの取り組み。富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県が共同で運営し、商談のほか、自然、食、歴史、ものづくりのテーマごとに体験コーナーを日替わりで設置。立山黒部アルペンルートのVR体験、招き猫絵付け体験、地酒の試飲といったアトラクションを実施し、来場者を楽しませた。特設ステージでは各県にまつわるクイズを出題し、成績優秀者に特産品をプレゼントする企画も行われた。

今後は主にインバウンド向けに“GO CENTRAL JAPAN”をキーワードとして売り込むほか、各地をめぐる複数ルートの造成、共同プロモーションなども予定している。担当者は「TEJをきっかけに、県域を越えて魅力を発信し、誘客につなげていくきっかけになった」と話していた。



## 観光SDGsスタンプラリー

9月27日（土）・28日（日）展示ホールC～F  
協賛：株式会社ジェーシービー／成田国際空港株式会社

展示会場を楽しんで回遊しながら、  
国内外のSDGsの取り組みを学ぶ

SDGsの取り組みが世界的に加速する中、持続可能な観光は業界にとっても欠かせないテーマとなっている。一般日の9月27日（土）・28日（日）には、観光事業分野におけるSDGsの取り組みを可視化し、展示会場内を回遊しながら「気づき」「学び」の機会を提供するデジタルスタンプラリーが行われた。二次元バーコードを利用しながら各ブースを回って合計10個のスタンプを取得すると、参画した出展者が提供する賞品を抽選でゲットできる、遊び心も加えた企画だ。

エコバッグやマイボトルの持参、サンゴや海の環境に配慮した日焼け止めの使用などを呼びかけているハイエイをはじめ、国内外の観光地が取り組むサステナブルなポイントを学んだり、古紙を再生してトイレットペーパーに再資源化する流れの一部を実際に体験したりするなど、家族連れを中心に、様々なブースに足を運んで楽しみながら知識を深める様子が見られた。

能登半島地震復興応援フェア/  
ピックルボール/フォトスポット

9月27日（土）・28日（日）展示ホールD

能登半島地震復興応援フェアに多くが関心  
ピックルボール体験やフォトスポットも

2025年のTEJの目的の1つが「北陸地域の復興支援」。能登地域では道路などインフラ復旧が進んでいるものの、和倉温泉の全面再開など復興は道半ばで懸命の努力が続けられている。展示会場内では一般日の27日（土）・28日（日）にトラベルソリューション展の跡地で「能登半島地震復興応援フェア」が行われ、輪島塗りなど特産品の販売や現地のお祭り、復興の様子を発信するパネル展に多くの人が足を運んだ。

ピックルボールを体験できるコーナーも登場。ピックルボールはアメリカで生まれ、テニス、卓球、バドミントンを組み合わせたようなラケットスポーツで、老若男女問わず楽しめることから挑戦しようとする姿も見られた。また、キービジュアルとともに撮影できるフォトスポットが設けられ、家族連れを中心に多くの来場者が足を止めた。イベントの雰囲気を気軽に楽しめる仕掛けとして好評を博し、会場のにぎわいづくりに一役買っていた。



## 小間内レセプション

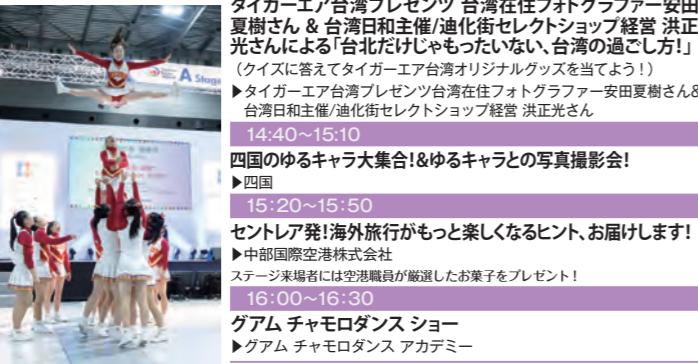
9月26日（金）夕刻からは、出展者ブースで関係者を招いたレセプションが行われた。



## ステージスケジュール

各国・地域の個性あふれるパフォーマンスとイベントで旅の魅力を発信し、観客を魅了!

Aステージ ホールB	Bステージ ホールF	プロモーションエリア ホールD
9月27日(土)	9月27日(土)	9月27日(土)
13:00~14:00 岩田剛典さんスペシャルトークイベント ►一般社団法人日本旅行業協会 JATA 海外旅行アンバサダーを務める、岩田剛典さんによるスペシャルトークイベント! 14:40~15:10 勝ち運の寺 藤尾寺 presents' 元気・勇気・笑顔 ►眞面目学園高等学校 デアリーダー部ゴールデンペアーズ 全国大会優勝をはじめ、NBAハーフタイムショー出演など、輝かしい実績を誇る名門チームが登場。藤尾寺がプロデュース。 15:30~16:00 西園寺・ZAKIと行くスカイマークで空の旅! セントアーラからの就航地をご紹介! ►スカイマーク株式会社 空港YouTuberとして活躍する2人が、スカイマークと各就航地の魅力を独自目線で深掘り!	10:30~11:00 台湾・嘉義県 ー美しい暮らしのかたち ►大久保 麻理子 嘉義のようこそ!あなたにとっての「美しい暮らしのかたち」が、ここにあります。 11:20~11:50 熊本城おもてなし武将隊 おもてなしステージ ►熊本城おもてなし武将隊 熊本城初代城主・加藤清正を筆頭に熊本に所縁の深い大名と家臣団、姫で構成された武士のものふ集団によるステージ。 12:10~12:40 第2のふるさとから未来を創る(第2のふるさとづくりプロジェクト) ►観光庁 観光庁が主催する「第2のふるさとづくり」プロジェクトの中から、複数団体に各地域のプロジェクト・魅力について語っていただきます。 13:00~13:30 ペトジェットエア オンラインクイズ大会! ペトジェットエアや、ベトナムに関するクイズに答えて航空券や、オリジナルグッズをゲットしよう! ►ペトジェットエア ペトジェットエアの魅力と、ベトナムの魅力をクイズ形式で楽しめます! 13:50~14:20 中国民族公演(中国獅子舞、陝西省漢中地方劇、チベット歌舞、変面) ►チベット甲羌百馬観光開発グループ有限公司、広東省文化と観光庁、陝西省漢中市文化と観光局、有限会社チャイナ企画 14:40~15:10 名古屋おもてなし武将隊×徳川家康と服部半蔵忍者隊 演武ステージ ►愛知県、名古屋市、名古屋おもてなし武将隊、徳川家康と服部半蔵忍者隊 名古屋おもてなし武将隊と徳川家康と服部半蔵忍者隊は、愛知・名古屋の魅力を紹介する観光PR隊です! 15:30~16:00 奄美の伝統的な島唄と踊り「八月踊りなど」 ►中部奄美会 奄美群島では島唄と踊りが盛んで、老若男女問わずみんなで楽しく踊っています。ぜひ一緒に踊りましょう! 16:20~16:50 空手発祥の地・沖縄 ►沖縄県文化観光スポーツ部空手振興課 沖縄は世界に誇る伝統文化「空手」の発祥地です!沖縄空手の精神を発信します。	11:20~11:50 ジョージアの国立公園 ►Ms.Tamar Khakhishvili ジョージアの美しい自然を紹介! 13:00~13:30 アメリカを練り歩く「べんてんや」チンドンショー ►べんてんや アジア、欧州、米国と世界を練り歩くどんどんガールズ「べんてんや」がどんどんサウンドを届け! 13:50~14:20 しろまるひめと姫路お城のアンバサダーが語る姫路の魅力 &じやんけん大会 ►姫路市 しろまるひめと姫路お城のアンバサダーによる観光トークで、姫路城周辺の注目スポットを厳選してご覧ください! 14:40~15:10 キルギス伝統音楽 ►カンバル&エミル from ウルコル ペトジェットエア オンラインクイズ大会!
9月28日(日)	9月28日(日)	9月28日(日)
10:30~11:00 巡って楽しい!広島エリアの周遊観光 ►広島・呉・宮島、廿日市の魅力を観光親善大使とゆるキャラたちがご紹介! 広島観光親善大使、宮島観光親善大使、元祖ゆるキャラ「ブンカッキー」、呉市公式キャラクター「吳氏」、けん玉発祥の地廿日市のマスクコットキャラクター「たまちゃん」 11:10~11:40 とっとり知っとる!鳥取県ってこんなとこ ►MC、トリビア (鳥取県PRキャラクター) いま、一番おすすめしたい旅情報。旬な情報を届け! 11:50~12:20 名古屋おもてなし武将隊×徳川家康と服部半蔵忍者隊 演武ステージ ►愛知県、名古屋市、名古屋おもてなし武将隊、徳川家康と服部半蔵忍者隊 名古屋おもてなし武将隊と徳川家康と服部半蔵忍者隊は、愛知・名古屋の魅力を紹介する観光PR隊です! 12:30~13:00 千秋と旅する韓国～ソウルはもちろん、韓国地方の魅力も!～ ►韓国観光公社 韓国を知り尽くしているタレント千秋さんが、韓国旅行の魅力を紹介。 13:10~13:40 旅行好きが作った最強旅行アプリ[travy]社長自ら徹底解説! ►株式会社トラベーション 13:50~14:20 熊本デスティネーションキャンペーン2026PR ►熊本県 14:30~15:20 瀬戸朝香さんトークショー ►ソーリズムEXPOジャパン推進室 ソーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸のスペシャル・サポートを務める、瀬戸朝香さんによるトークショー! 15:30~16:00 【名产品が貰える!】とこなめクイズ大会 ►伊藤辰矢/常滑市長、トコタン/常滑市キャラクター、小栗ひなた/知多娘。兼 常滑市応援ボスター 開催地の常滑市長らが登壇!常滑市の観光の魅力や常滑ブースを紹介します。 16:25~17:00 グランドフィナーレ ご当地キャラクターが大集合!	10:30~11:00 ウイラ&マンジャのマレーシアクイズ大会 ►マレーシア政府観光局 マレーシア観光年2026 (VM2026) の公式マスコットとして登場した、マレーシアウイラとマンジャが、名古屋で初お披露目! 11:20~11:50 ビビビビ!台湾 TAIWAN-Waves of Wonder ►台湾観光協会 フェザー・アート・オブ・ドラム・アンド・ダンス(羽・撃舞藝術)は、台湾原住民族として初めてバイソン族を主体とする打楽団です! 12:10~12:40 中部地区における観光人材の育成について ►愛知県立大学交渉文化部観光専攻 中部地区における観光人材の育成をめぐって、企業と高校、大学の関係者が現状と展望、そして期待を語ります。 13:00~13:30 世界アイドル共和国スペシャルステージ ►SAKURA GRADUATION (サクラグラデュエーション) ここは夢が叶う場所、夢が叶えられる場所「世界アイドル共和国」!アイドルの聖地から、夢とさあきをお届けします。 13:50~14:20 タイガーエア台湾プレゼンツ 台湾在住フォトグラファー安田夏樹さん & 台湾日和主催/迪化街セレクトショップ経営 洪正光さんによる「台北だけじゃもったいない、台湾の過ごし方!」(クイズに答えてタイガーエア台湾オリジナルグッズを当てよう!) ►タイガーエア台湾プレゼンツ台湾在住フォトグラファー安田夏樹さん&台湾日和主催/迪化街セレクトショップ経営 洪正光さん 14:40~15:10 四国のゆるキャラ大集合!&ゆるキャラとの写真撮影会! ►四国 15:20~15:50 セントアーラ!海外旅行がもっと楽しくなるヒント、お届けします! ►中部国際空港株式会社 ステージ来場者には空港職員が厳選したお菓子をプレゼント! 16:00~16:30 グアム チャモロダンス ショー ►グアム チャモロダンス アカデミー	9月28日(日)



※受賞ブースの写真紹介は、P17、P19参照

## 「SOUL FOOD JAM」と「フードコート」のダブルで来場者を魅了 過去最大のキッチンカー出店、名古屋めしや世界のグルメが勢ぞろい

### SOUL FOOD JAM

9月25日(木)~28日(日)  
展示ホールB・F/展示場外

### フードコート (Food Court)

9月25日(木)~28日(日)  
展示ホールC・E・F

「SOUL FOOD JAM」は2017年に始まり、中部圏を中心に現在まで40回以上開催されているグルメイベント。各地からフードトラック、キッチンカーが集まり、食を通して笑顔で楽しく過ごせる時間を提案している。今回は、ご当地グルメから世界のフードまで、TEJ史上最大となる30店舗が出店。手羽先、台湾ラーメン、味噌カツ丼、富士宮やきそばといったご当地グルメのほか、アメリカのBBQサンド、タイのガパオライス、トルコのドネルケバブ、メキシコのタコスといった世界の旅の祭典ならではのメニューがずらりと並んだ。週末は天候に恵まれ気温が上昇したこともあり、屋外のソフトクリームやタピオカミルクなどの冷たいスイーツにも人気が集まつた。



## 閉会式／グランドフィナーレ

9月28日(日) 16:25~17:00  
展示ホールB Aステージ

### 愛知県初開催! 中部北陸のポテンシャル示す場に 目標大きく上回る出展数、来場者数を記録

愛知県で初開催した今年は、海外82カ国・地域、国内45都道府県から出展があり、4日間で当初目標を大きく上回る127,677人の入場者数を記録した。多彩な観光資源と充実した交通網が広がる中部圏への業界関係者の関心は高く、出展小間数は1,474、参加企業・団体は1,350で、事前アポイントメント制の商談件数は前回東京の6,239件に迫る6,071件に上った。商談会には703名のバイヤーと826名のセラーが参加した。

閉会式で挨拶に立った高橋広行実行委員長は「旅は“知”的”再発見であり、このイベントを通じて観光がさらに活性化していくことを願っている。業界を挙げて日本を盛り上げていきたい」と力強く表明。ジェーシービーの岡崎正明取締役兼常務執行役員は「中部北陸エリアの新しい可能性を実感した。日本発の国際カードブランドとしても観光の魅力を伝えていきたい」などと語った。

また、展示会を盛り上げたブースグランプリの表彰も行われ、旅のプロが選ぶ(業界日)、旅の愛好家が選ぶ(一般日)の2部門で選出。グランプリ、準グランプリ、特別賞、実行委員長賞の計8団体が受賞した。試飲など体験の取り組みが光った愛知県常滑市も選出され、今回のイベントにおける地元の熱意を象徴する場ともなった。

最後は毎年恒例、各地のご当地キャラクターも集合し、盛大なグランドフィナーレを執り行うとともに、2026年の東京ビッグサイトでの再会を約束して閉幕した。



### 登壇者

【閉会式】岡崎正明氏(株式会社ジェーシービー 取締役兼常務執行役員)

高橋広行(ソーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長)

【ブースグランプリ表彰式】ブースグランプリ受賞者

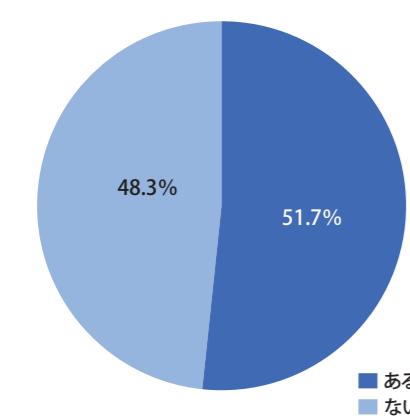
【グランドフィナーレ】出展者(各地のご当地キャラクターなど)



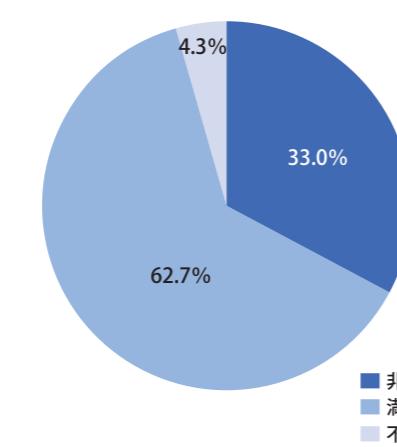
## 業界来場者アンケート

初の愛知開催となった今回の展示会だが、来場者の5割強は過去にTEJに来場したことがある、また85.0%が次回も来場したいと回答するなど、イベントの認知度の高まりが感じられる結果となった。来場目的を見ると「情報収集」が9割強、「知見を広げる」が8割弱を占め、目的別満足度も100%近い数値となっている。「業界内のネットワークづくり」や「新しいビジネスモデルへのヒント」「新しい地域・領域へのビジネスチャンス」などより積極的な目的を持つ来場者も増加傾向にあり、満足が9割前後と、具体的な成果を得られている様子がうかがわれる。

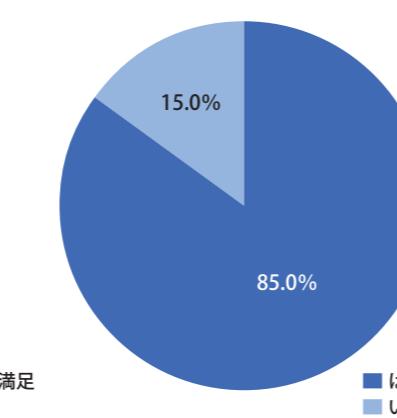
## ■TEJへの来場経験



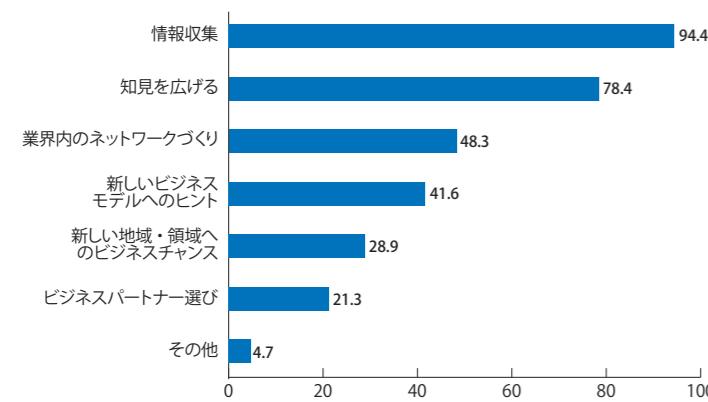
## ■総合的な満足度



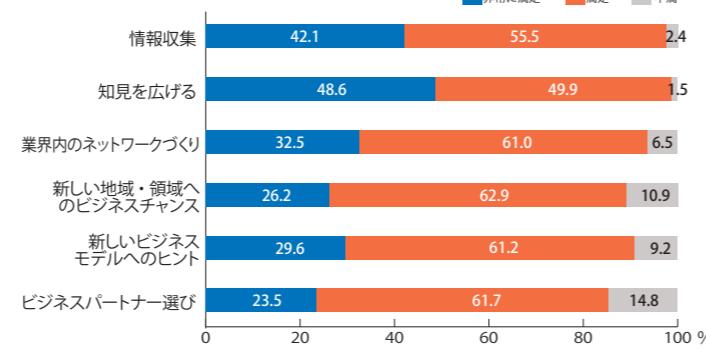
## ■次回(東京)も来場したいと思いますか



## ■来場目的(複数回答)



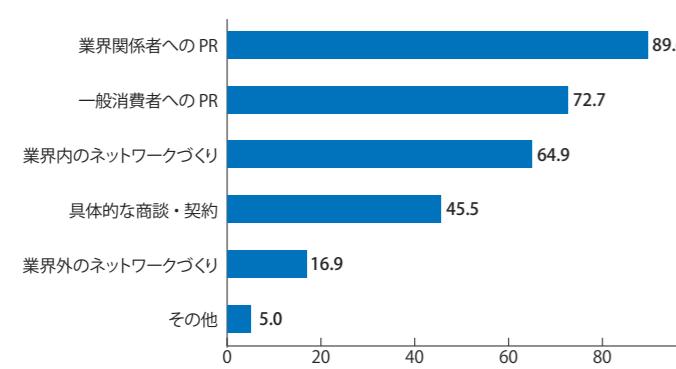
## ■来場目的別満足度



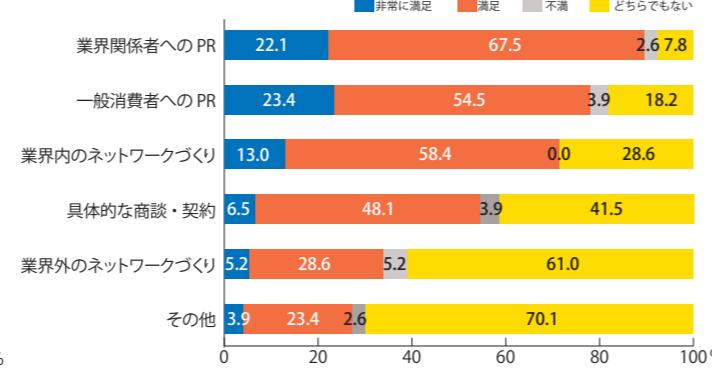
## 出展者アンケート

出展目的は「業界関係者へのPR」が9割弱、「一般消費者へのPR」が7割強と、業界日、一般日とともにPR効果に期待する出展者が多く、満足度も高い。また、「業界内のネットワークづくり」や「具体的な商談・契約」を目的とする出展者も一定数を占め、商談の場としての認知度の高まりがうかがえる。

## ■出展目的(複数回答)



## ■出展目的別満足度



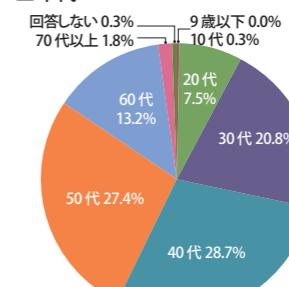
## 今回の出展で得られた成果

- ①今まで東京や大阪で出会えなかった中部エリアのエージェントとつながりが持て、より多くの方に知ってもらいたいという目的を持つている私たちにとっては、とても有意義な場となった。
- ②MICEを取り扱っているバイヤーも多く、良い商談ができた。
- ③大手企業以外の中小企業等とのネットワークや新しい提携サービスが見つかり、有意義だった。
- ④ブースに来場した名刺交換・商談した相手と、具体的な商談や業務の発注につながった。
- ⑤ソーシャルメディアに対するアプローチの仕方がいろいろあって、勉強になった。
- ⑥様々な業界の方の話を聞くことができ、ニーズを把握することができた。
- ⑦モニターサービスや来季のツアーの広報、情報発信として関係者とのつながりを持てた。
- ⑧新規補助金の実施に向けたヒアリングに活用できた。
- ⑨名古屋のお客様は海外旅行にも行きたいという気持ちが強いので、その気持ちを向上させるための情報の提供等を行っていきたいと感じた。
- ⑩観光アンケートで有意義なデータを収集することができた。
- ⑪地域においては得られない情報が多数あった。
- ⑫地域の観光認知度、名産品の知名度向上につながった。
- ⑬BtoBセミナーでは毎回満席、立見が出るほど大盛況だった！
- ⑭一般日に投票ボードを準備し来場者に投票を呼びかけたところ、想定以上の投票が集まり、今後に活かせそうな結果を得られた。
- ⑮多様化する観光の形態を示すことができるプラットフォームだと思う。

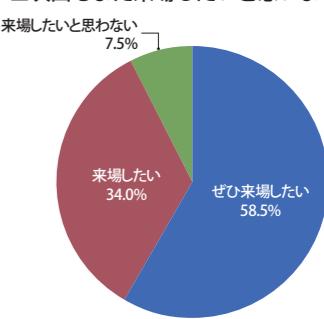
## 一般来場者アンケート

来場者の年代は40代を中心、20代～50代が8割強を占めている。来場目的は「イベントを楽しむため」「旅行の気分を味わうため」「訪問したいブースがあったため」の順で、他の目的で訪れた人の満足度も総じて高い。「次回もまた来たい」という人も9割を超えており、一般来場者にも「旅の祭典」として認知され、一定の評価を受けていることがわかる。

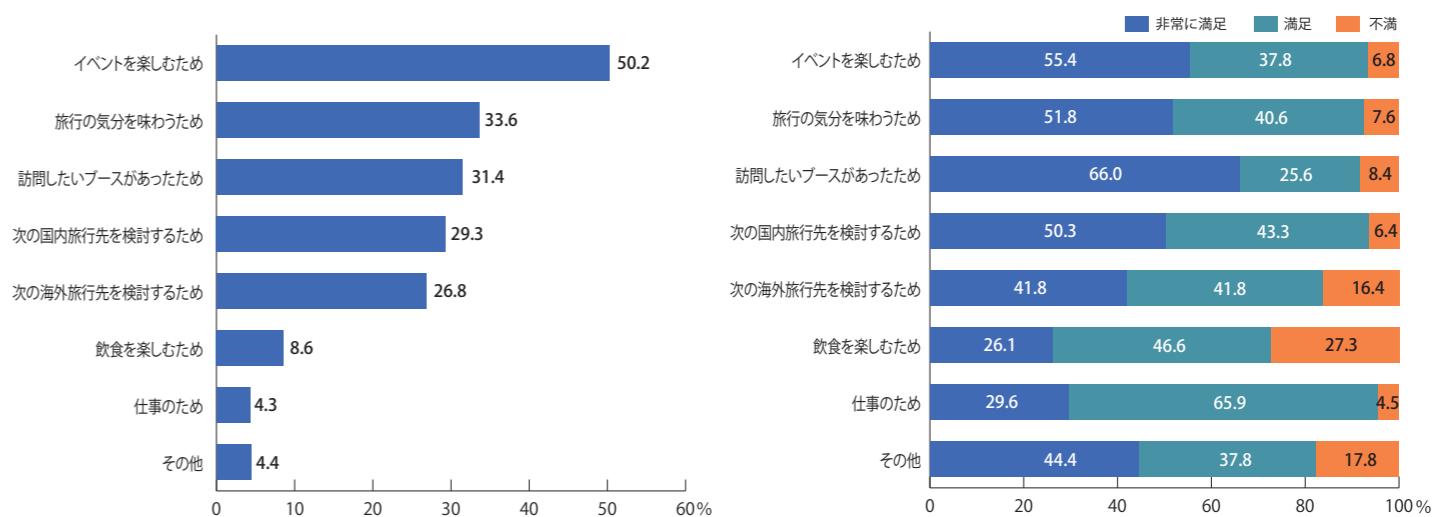
## ■年代



## ■次回もまた来場したいと思いますか



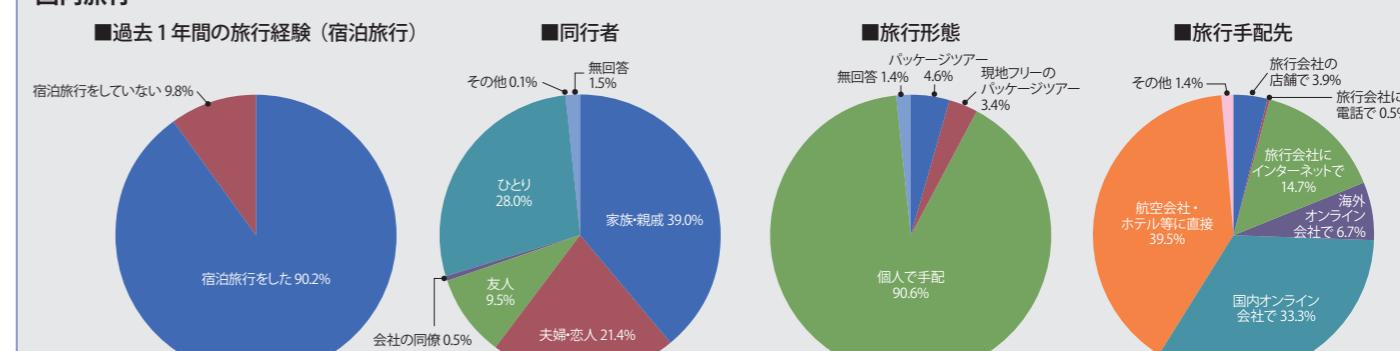
## ■来場目的(複数回答)



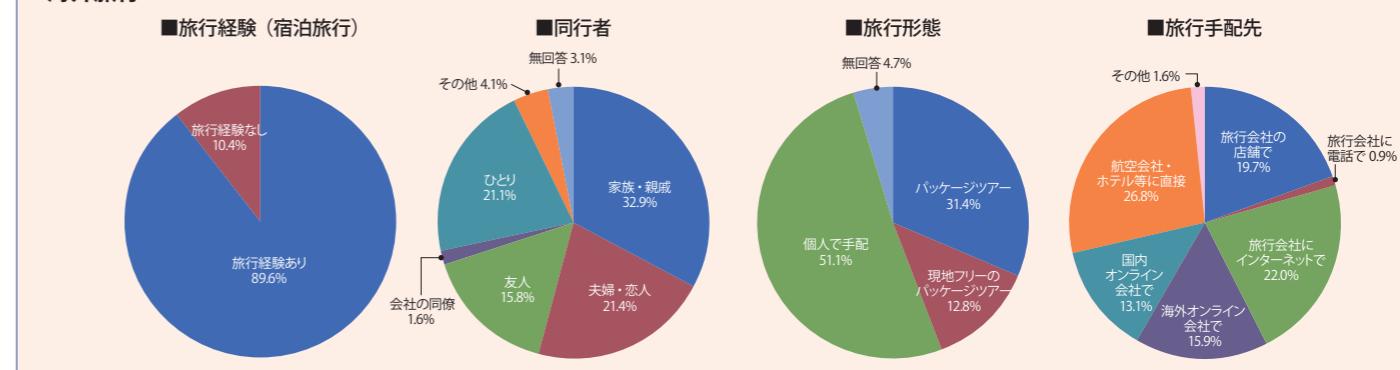
## 一般来場者の旅行動向

国内旅行は過去1年間に宿泊旅行を経験した人が約9割、海外旅行はこれまでに9割弱が経験しており、旅行意欲の高い来場者が多いことがわかる。同行者では、「家族・親戚」が一番多いものの、国内・海外ともに「ひとり」の割合が増加傾向にある。旅行形態では、国内は「個人で手配」が約9割、海外でも5割強を占め、旅行手配先も「航空会社・ホテル等に直接」をはじめ、個人でネット予約が当たり前の時代となり、対面や電話での予約は減少傾向にある。

## 国内旅行



## 海外旅行



メディア総露出数: 3,221記事 (4月~10月) 広告換算合計: 602,885,177円  
メディア来場: テレビ局、新聞社など主要メディアを含む362名 (延べ) が来場

## 記者会見 開催に向けて

- (1) 「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」開催概要発表会見  
開催日: 2025年7月16日 (水)  
場 所: TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前  
内 容: ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸開催概要、開催地、展示会の見どころなど  
出席メディア: 18名 (新聞7名、通信社3名、専門媒体4名、WEB1名、雑誌2名、その他1名)

- (2) JATA定例記者会見  
開催日: 2025年9月11日 (木)  
場 所: 日本旅行業協会 全日通霞が関ビル4階 会議室  
内 容: ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸実施概要、注目のブース最新情報  
出席メディア: 11名 (新聞1名、業界紙8名他)

- (3) 開催初日主催団体記者会見  
開催日: 2025年9月25日 (木)  
場 所: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 会議室L3~L5  
内 容: ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸開催規模、展示・出展者の見どころ、スペシャル・センター紹介  
出席メディア: 35名

## ■ テレビ: 9局14番組、15件 / 広告換算額: 68,983,354円



## ■ WEB/SNS: 1,936件 (元記事288件) / 広告換算額: 261,492,018円



## ■ 揭出実績 (一部)



## ■ その他告知協力



## ■ SNS: 広報部会員各社・出展者による一斉投稿



## ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 及び VISIT JAPANトラベル&amp;MICEマート2025スケジュール

日	会場	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
9月25日 (木)	会議室L3~5		第9回「ジャパン・ツーリズム・アワード」表彰式 10:10~11:00			基調講演 13:30~14:30	第8回TEJ観光大臣会合 14:45~16:45					
	展示ホールC~F		主催団体記者会見 11:15~11:45	展示商談会(業界・プレス日) 10:00~18:00								
			トラベルソリューション展2025 10:00~18:00									
	会議室M2・M3・M4			ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30~18:00								
	Aステージ(展示ホールB)									WELCOME RECEPTION 18:00~19:45		
9月26日 (金)	展示ホールA	開会式 9:30~9:50	VISIT JAPAN トラベル&MICEマート(VJTM & VJMM)2025 10:00~17:50									
	会議室L3~5	国内観光シンポジウム 10:00~11:20	海外旅行シンポジウム 12:10~13:30	インバウンドシンポジウム 14:20~15:40	休み方改革シンポジウム 16:30~17:50							
	展示ホールC~F		展示商談会(業界・プレス日) 10:00~18:00									
			トラベルソリューション展2025 10:00~18:00									
	会議室M2・M3・M4 Aステージ(展示ホールB)		ツーリズム・プロフェッショナル・セミナー 10:30~18:00									
9月27日 (土)	展示ホールA	VISIT JAPAN トラベル&MICEマート(VJTM & VJMM)2025 9:00~17:50										
	展示ホールC~F		展示会(一般日) 10:00~18:00									
	展示ホールA	VISIT JAPAN トラベル&MICEマート (VJTM & VJMM)2025 9:00~12:20										
9月28日 (日)	展示ホールC~F		展示会(一般日) 10:00~17:00									
	Aステージ(展示ホールB)					閉会式/グランドフィナーレ 16:25~17:00						

## 開催テーマとキービジュアル

## ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 開催テーマ

## 旅は“知”的再発見

## Travel for Discovery and New Encounters

- (1) 中部エリアで初開催
- (2) 今と未来を“五感”で感じる旅の総合見本市として開催
- (3) 中部北陸エリアにおける広域地域振興に大きく貢献するイベントとして開催



## キービジュアル クリエイティブコンセプト

旅に出る前のリサーチ。壮大な景色との遭遇。異文化との出会い・交流、アクティビティの体験。それらをもって世界中を旅するイメージを、上からの視点で見ています。

見たことのないものを見に行くポジティブさを表現する意味で「GO」を入れ、旅行のイメージを膨らませています。

## 運営/協賛・協力機関団体リスト

【主 催】	公益社団法人日本観光振興協会、一般社団法人日本旅行業協会 (JATA)、日本政府観光局 (JNTO)
【特別協力】	一般社団法人全国旅行業協会 (ANTA)
【特別賛助】	愛知県
【開催支援】	ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 開催地連絡協議会
【後 援】	国土交通省、国土交通省観光庁、総務省、外務省、スポーツ庁、文化庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、一般社団法人中央日本総合観光機構、一般社団法人愛知県観光協会、独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)、一般社団法人日本経済団体連合会、一般社団法人中部経済連合会、北陸経済連合会、日本商工会議所、東京商工会議所、名古屋商工会議所、一般社団法人日本コンベンション協会
【企画・運営】	ツーリズムEXPOジャパン推進室
【協 賛】	◎特別協賛 オフィシャルスポンサー：株式会社ジェーシービー
◎展示商談会	ゴールドスポンサー：中部国際空港株式会社、インド・ラジャスタン州観光省 シルバースポンサー：東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、近畿グループホールディングス株式会社、マカオ政府観光局、日本航空株式会社、全日本空輸株式会社、スターラックス航空、成田国際空港株式会社、日本空港ビルディング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社
プロンズスポンサー：株式会社オリエンタルランド、東京海上日動火災保険株式会社 賛助協賛：東日本旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、四国旅客鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社 VIP関係者用バスponsr：株式会社旅行総研	
◎WELCOME RECEPTION	シルバーパートナー：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社 協 力：っぽんどう真ん中祭り「常笑」、名古屋おもてなし武将隊、伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」、中部国際空港株式会社、株式会社Mizkan、七宝味噌・醤油蔵元 佐藤醸造株式会社、株式会社漬処 寿儀屋、麁匠彩どり、げんきの郷・JAあいち知多の恵み、屋台超光、マルハチ横丁、西尾市観光協会・西尾茶協同組合・西尾市・三河一色えびせんべい組合、株式会社青柳総本家、名古屋お茶会スタンプラリー実行委員会、ひつまぶし う家 / 北海道 かに将軍、合同会社ジバング倉、株式会社三輪酒造、有限会社大橋量器、株式会社伊藤園、書道家 詠月
組織委員会 (委員名50音順)	大前 圭司 澤木 徹 全日本空輸株式会社 上席執行役員 CX推進室長 開催地連絡協議会 事務局長 愛知県 観光コンベンション局 国際観光コンベンション課 課長 島川 崇 清水 繁 清水 喜夫 神奈川大学 国際日本学部国際文化交流学科 観光文化コース教授 東京商工会議所 地域振興部長 高橋 広行 一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 会長 ツーリズムEXPOジャパン実行委員会 委員長 蒲生 篤実 日本政府観光局 (JNTO) 理事長 鈴木 勝 立田 理一郎 環境省 自然環境局 国立公園課 国立公園利用推進室長 田中 賢二 寺澤 大介 田中 賢二 寺澤 大介 西原口 香織 日本航空株式会社 執行役員 ソリューション営業本部 副本部長、 東京支社長 橋場 健 長谷川 豊 古澤 英樹 スボーツ庁 審議官 公益社団法人日本観光振興協会 副理事長 東日本旅客鉄道株式会社 マーケティング本部 くらしづくり・ 地方創生部 観光・地域活性化ユニット観光戦略室長 本保 芳明 松坂 浩史 一般社団法人中央日本総合観光機構 常務理事 文化庁 審議官 日本商工会議所 地域振興部長 宮澤 伸 東京支社長 安川 朋子 東日本旅客鉄道株式会社 営業統括本部 国内旅行部長 山口 剛志 株式会社JTB 執行役員 仕入商品事業部長 吉田 尚史 株式会社日本旅行 常務執行役員 営業戦略本部 統括副本部長 若松 穆 日本政府観光局 (JNTO) 理事
ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 開催地連絡協議会 (委員名50音順)	
〈顧問〉	大村 秀章 愛知県知事
〈会長〉	勝野 哲 一般社団法人中部経済連合会 会長
〈副会長〉	金井 豊 安藤 隆司 北陸経済連合会 会長 一般社団法人愛知県観光協会 会長
〈委員〉	飯田 貢 泉 清隆 伊藤 彰彦 魚屋 敦司 内田 吉典 籠橋 寛典 勝野 哲 金井 豊 佐治 独歩 鈴木 隆 鈴木 博 高崎 裕樹 竹本 幸夫 多田 龍介 柘植 浩史 中村 広樹 新美 文二 丹羽 俊介 宮本 文武 モルガン・ 若井 敏 渡邊 幸一 公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 理事長 国土交通省 北陸信越運輸局 観光部長 一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 支部長 北陸経済連合会 常務理事・事務局長 名古屋商工会議所 専務理事 中部国際空港株式会社 代表取締役社長 一般社団法人中央日本総合観光機構 会長 北陸広域観光推進協議会 会長 名古屋市観光文化交流局長 一般社団法人愛知県観光協会 専務理事 愛知県町村会 会長 名古屋鉄道株式会社 代表取締役社長 愛知県市長会 会長 愛知県観光コンベンション局長 愛知県道路コンセッション株式会社 代表取締役社長 国土交通省 中部運輸局長 愛知県商工会連合会 会長 東海旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 一般社団法人中部経済連合会 常務理事事務局長 シドウラール 愛知国際会議展示場株式会社 代表取締役社長 近畿グループホールディングス株式会社 代表取締役社長 愛知県ホテル・旅館生活衛生同業組合 理事長

(2025年9月1日現在)



## ツーリズム EXPO ジャパン 2026

ツーリズム EXPO ジャパン2026 出展申込受付中！

## 東京ビッグサイト

2026年

9/24(木) - 9/27(日)

開催日時

業界・プレス

24日(木) 10:00~18:00

25日(金) 10:00~18:00

一般

26日(土) 10:00~18:00

27日(日) 10:00~17:00

主 催

公益社団法人日本観光振興協会

一般社団法人日本旅行業協会

日本政府観光局(JNTO)

同時開催

トラベルソリューション展2026

合同開催

VISIT JAPAN トランベル &amp; MICE マート 2026 / 主催: 日本政府観光局 (JNTO) (予定)

## ツーリズム EXPO ジャパン 2024 東京ビッグサイト 開催実績

2024年來場者数

合計

182,934 人

・9/26(木) 業界・プレス日 36,459人

・9/27(金) 業界・プレス日 35,359人

・9/28(土) 一般日 54,869人

・9/29(日) 一般日 56,247人

商談 件数

6,239 件

2024年出展者数

1,624 小間 1,384 企業・団体

参加セラー数

1,050 人

参加バイヤー数

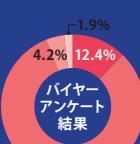
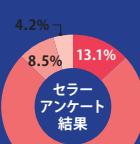
736 人

商談会参加者アンケート

商談会は有益でしたか

■ 有益だった  
■ 有益ではなかった

期待していた内容の商談ができましたか

■ 期待以上だった  
■ 期待通りだった  
■ 期待以下だった  
■ その他

## 料金表

出展料	申込締切日	基礎小間	スペース(敷地のみ)
	スーパー早期割引 (約10%引き) 2026年1月9日(金)	¥579,700 (税込) / 小間(9m <sup>2</sup> )	¥521,400 (税込) / 9m <sup>2</sup>
	早期割引 (約8%引き) 2026年3月13日(金)	¥592,900 (税込) / 小間(9m <sup>2</sup> )	¥532,400 (税込) / 9m <sup>2</sup>
	通常 2026年5月15日(金)	¥643,500 (税込) / 小間(9m <sup>2</sup> )	¥579,700 (税込) / 9m <sup>2</sup>

お申込み、各種情報・資料等の閲覧、ダウンロードは公式ホームページから! <https://t-expo.jp/>

[お問合せ] ツーリズムEXPOジャパン推進室

E-mail: [event@t-expo.jp](mailto:event@t-expo.jp) TEL: 03-5510-2004